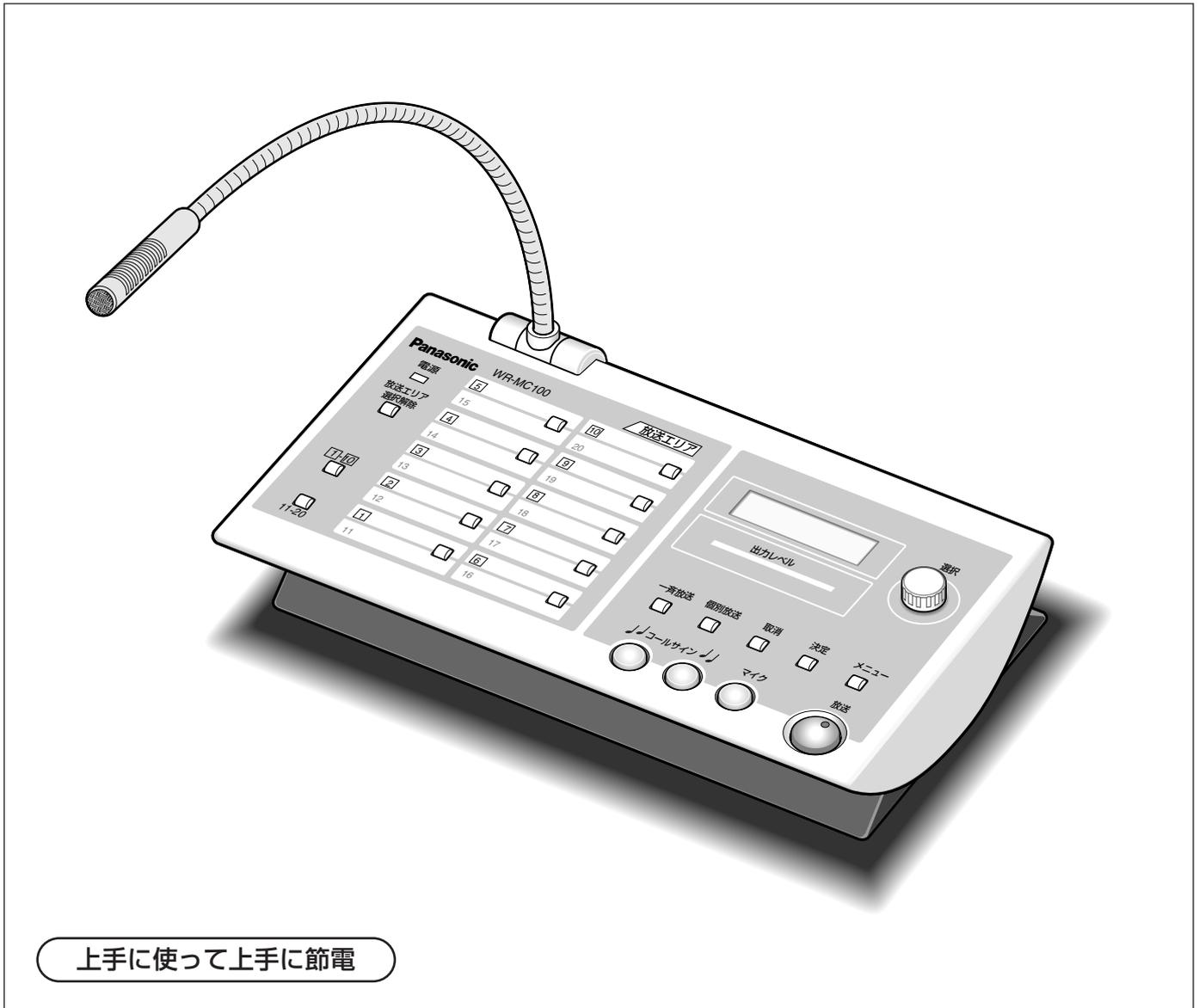


マルチリモコンマイク

品番 **WR-MC100**



上手に使って上手に節電

保証書別添付

- このたびは、マルチリモコンマイクをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- ・この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(6ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
 - ・保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

商品概要

本機は、業務用途を目的とした壁掛形非常用放送設備WK-EK110/EK115/EK120、ラック形非常用放送設備WL-7550A/7050A、システムコントローラーWL-K500、AVステーションWL-AV200A/AV190用のマルチリモコンマイクです。

- WK-EK110/EK115/EK120には最大4台接続できます。WL-7550A/7050A、WL-K500、WL-AV200A/AV190には最大8台接続できます。^{*1}
- 10個の放送エリア選択ボタンと放送エリア切換ボタンにより、20のエリア放送ができます。(壁掛形非常用放送設備以外は、10のエリア放送になります)
- 一斉放送および放送先を個別に指定し放送する個別放送ができます。
- 外部音声入力端子を有し、外部にBGM機器などを接続して本機より放送することができます。
- コールサインを内蔵しています。本機を接続する主装置^{*2}側に内蔵されたコールサインを、本機のコールサインボタンにより鳴動することも可能です。
- モニター用スピーカーを内蔵しており、コールサインや外部音声入力の音声をモニターできます。
- 制御出力端子(3回路)を有し、コールサインボタンやマイクボタンなどに連動して出力することで、周辺機器の制御をすることができます。
- 液晶表示で機器の状態や設定内容を確認することができます。

※1：本機はDC24 Vで動作します。本機を接続する主装置の機種やシステムの規模によっては、ACアダプターWZ-MC100(別売り)が必要になります。

※2：主装置とは、壁掛形非常用放送設備WK-EK110/EK115/EK120、ラック形非常用放送設備WL-7550A/7050A、システムコントローラーWL-K500、AVステーションWL-AV200A/AV190を指します。

付属品をご確認ください

取扱説明書(本書).....1	以下の付属品は取付工事に使用します。
保証書.....1	束線バンド.....3
	風防(本体取付済み).....1

免責について

弊社は如何なる場合にも以下に関して、一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ② お客様の故意、誤使用や不注意による損害、または本商品の破損等
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、放送ができないなどによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器等と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

もくじ

ご
使用
前
に

ご使用 前に

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	3
もくじ	4
安全上のご注意	6
使用上のお願い	7
各部のなまえと働き	8

操
作

操作 使いたいとき

操作の前に	10
操作のしかた	11
電源を入れる	11
放送先の選択	11
放送のしかた	12
個別放送のしかた	13
マイク音量の調節のしかた	15
故障かな!?	16

工
事

工事 設置・設定

設置上のお願い	18
各部のなまえと働き	18
設置のしかた	19
据置型として使用する場合	19
壁面に取り付けて使用する場合	21
接続のしかた	24
線材の線径について	24
データ線の接続方法	24
1. 壁掛形非常用放送設備との接続	25
2. ラック形非常用放送設備、システムコントローラーとの接続	26
3. AVステーション (WL-AV200A/AV190) との接続	28
4. 外部音源との接続	30
ユニットアドレスについて	31
設定のしかた	31
変更・追加のしかた	31
ユニット設定メニューについて	32
ユニット設定メニューの表示と消去	33
ユニット設定	34
通信速度の設定	34
コールサイン音量の設定	35

必
要
な
と
き

コールサイン上り音、下り音の設定	36
コールサイン起動の設定	37
BGM音量の設定	38
BGMミュート音量の設定	39
BGMフェード時間の設定	40
放送スイッチの設定	41
マイクスイッチの設定	42
外部制御出力1、2、3の設定	43
液晶 (LCD) バックライトの設定	44
パスワードの設定	45
設定の初期化	46
ユニット点検	47
電源電圧のチェック	47
バージョン番号の表示	47
故障かな!?	48

必要なとき

仕様	49
保証とアフターサービス	50

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いが出るなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因になります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

壁取付時、質量に耐える指定の方法で取り付ける



ゆるみやはずれで落下し、事故の原因となります。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入っていると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下によるけがの原因になります。

機器の上に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

雷のときは工事、配線をしてはいけない



使用上のお願い

⚠警告に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

使用温度範囲は

0℃～+50℃です。この温度以外で使用すると、内部の部品に悪影響を与え、故障または誤動作の原因となります。

携帯電話のご使用について

本機の近くでは、携帯電話等の無線機器のご使用は避けてください。放送にノイズが乗る恐れがあります。

本機を移動する場合は

- 必ず本体部と台座部が固定されていることを確認し、台座を持ってください。固定されていないと落下などで故障の原因となります。
- フレキシブルマイク部を持って移動しないでください。故障の原因となります。

マイク部を口元に近づけるときは

マイク部に近い側を持って曲げてください。絶対に根元側から曲げないでください。破損の原因となります。



使用場所について

窓際など直射日光の当たる場所でのご使用は避けてください。直射日光により、選択したボタンの点灯が識別できなくなります。

水滴が付いたときは

すぐ電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。その後よく乾かしてからご使用ください。

お手入れについて

電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。

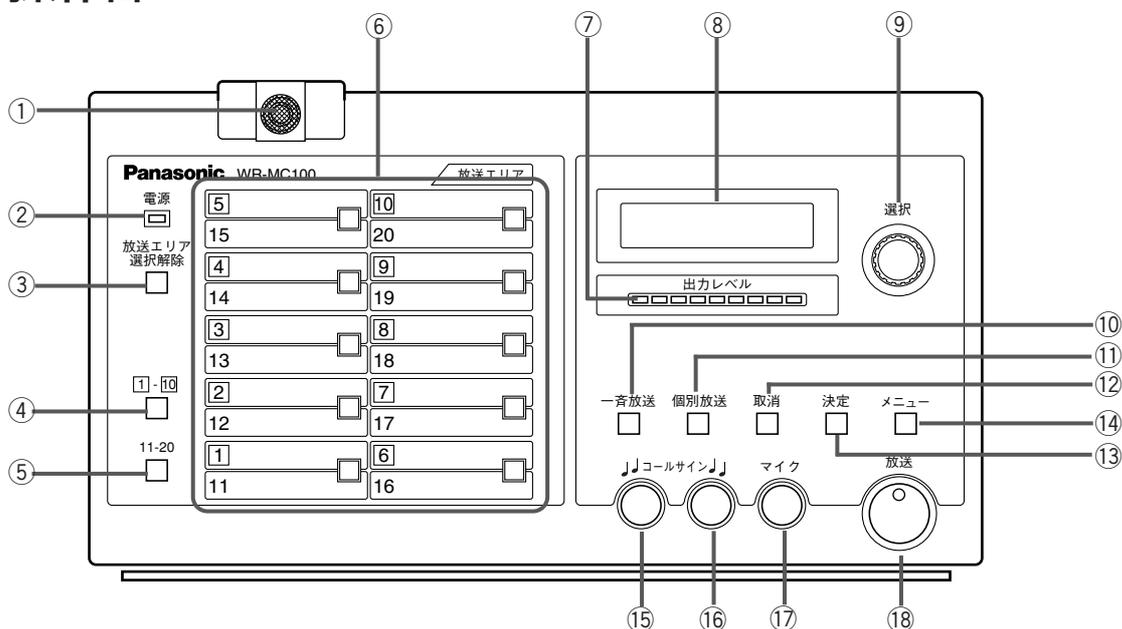
ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。

ベンジンやシンナーなどの揮発性のものは使用しないでください。

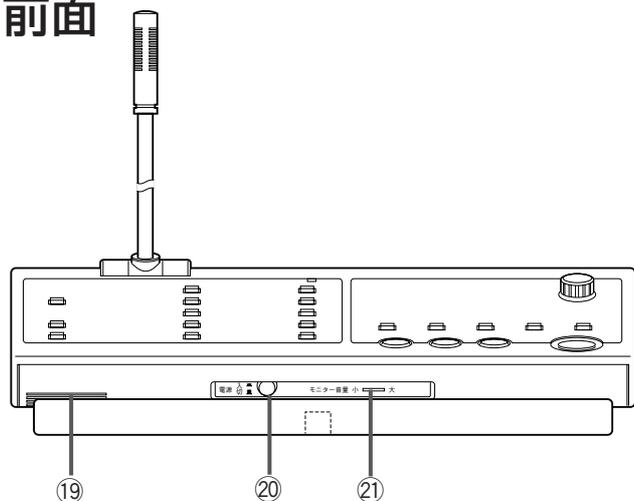
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

各部のなまえと働き

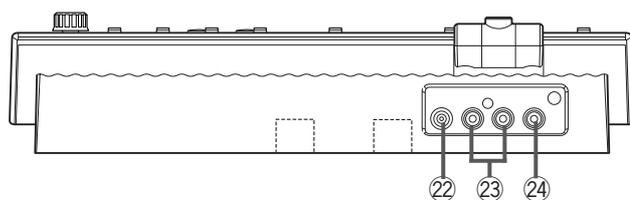
本体操作部



前面



後面



① フレキシブルマイク

マイクの方角を変えることができます。
風防（付属品取付済）をつけてご使用ください。

② 電源表示【電源】

本機に電源が供給されているときに点灯します。

③ 解除ボタン【放送エリア選択解除】

放送エリアボタン⑥で選択されているすべての放送エリアを解除することができます。

④ 放送エリア1～10切換ボタン/表示灯【1-10】

押すとボタンが点灯し、放送エリアボタン⑥が1～10に切り換わります。

⑤ 放送エリア11～20切換ボタン/表示灯【11-20】

押すとボタンが点灯し、放送エリアボタン⑥が11～20に切り換わります。

⑥ 放送エリアボタン/表示灯【1-20】

放送先のエリア（1～20）を選択します。選択されたボタンは緑色または橙色に点灯します。

緑色：放送可能。

橙色：放送不可。本機より優先順位の高い放送が行われています。

※放送先（1～20）を主装置側で割り当てていない場合、押しても選択できません。

- ⑦ **出力レベルメーター** [出力レベル]
本機が出力する音声レベルを表示します。赤色が点灯しない状態が適正レベルの目安です。
- ⑧ **液晶表示部**
放送エリア、操作内容、設定内容を表示します。
- ⑨ **選択ダイヤル** [選択]
左右に回して設定項目を選択できます。パスワード入力時は、押すとカーソルを移動することができます。
- ⑩ **一斉放送ボタン／表示灯** [一斉放送]
一斉放送するときに押します。押すとボタンが点灯します。
放送ボタン⑩の表示灯も点灯します。
- ⑪ **個別放送ボタン／表示灯** [個別放送]
スピーカー回線ごとに放送する場合に押します。押すとボタンが点灯します。
放送エリアボタン⑥がスピーカー回線入力用のテンキーボタンとなります。このときは押してもボタンは点灯しません。
- ⑫ **取り消しボタン** [取消]
液晶に表示されている内容を取り消す場合に押します。
- ⑬ **決定ボタン** [決定]
液晶に表示されている内容を選択、決定する場合に押します。
- ⑭ **メニューボタン** [メニュー]
液晶の機能を選択する際に押します。
- ⑮ **コールサイン上りボタン／表示灯** [コールサイン ↑]
ボタンを押すと、上り4音（出荷時設定）のコールサインが流れます。コールサインが流れている間、ボタンは点滅します。
- ⑯ **コールサイン下りボタン／表示灯** [コールサイン ↓]
ボタンを押すと、下り4音（出荷時設定）のコールサインが流れます。コールサインが流れている間、ボタンは点滅します。
- ⑰ **マイクボタン／表示灯** [マイク]
フレキシブルマイク①から放送するときに押します。押すとボタンが点灯します。
- ⑱ **放送ボタン／表示灯** [放送]
押すと放送することができます。放送中は表示灯が点灯します。
- ⑲ **内蔵スピーカー**
本機が放送している内容を聞くことができます。
- ⑳ **電源スイッチ** [電源 入／切]
本機の電源を「入／切」します。押すと「入」、戻すと「切」になります。
「入」になると電源表示⑳が点灯します。
電源スイッチを「切」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合は主装置側の電源を切ってください。
- ㉑ **内蔵スピーカー音量調節つまみ** [モニター音量 小／大]
内蔵スピーカー⑲の音量を調節します。右に回すと音量が大きくなります。
音声を出したくない場合は、左に回しきってご使用ください。
- ㉒ **DC入力24 V端子** [DC 入力 24 V]
本機を接続する機器から電源（DC24 V）の供給が受けられない場合に、別売のACアダプターを接続して電源の供給を受けます。
- ㉓ **外部入力端子** [外部入力1、2 (−2 dBV 20 kΩ)]
BGMなどの外部音源機器を接続します。2系統ありますが、本機内部でモノラルにミックスされます。放送中は、この端子に入力される音声も放送されます。
マイクが「入」になっているときは、自動的に音量を下げる機能もあります（BGMミュート）。
- ㉔ **録音出力端子** [録音出力 (−2 dBV 10 kΩ)]
ICレコーダーなどを接続します。放送状態に関係なく、本機の音声を録音することができます。

操作の前に

液晶画面に各放送状態が下図のように表示されます。

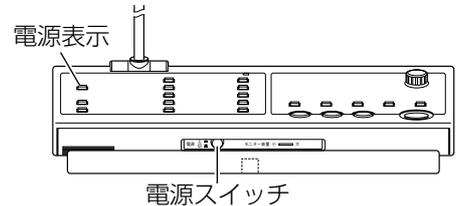
放送状態	液晶画面表示	備考
非常放送	ヒジ ョウ ホウソウチュウ	ACアダプター使用時に表示されます。本機から放送できません。
緊急放送	キンキユウ ホウソウチュウ	本機から放送できません。
業務放送 本体から放送	ホウソウ キト' ウチュウ <ホンタイ>	
業務放送 非常リモコンから放送	ホウソウ キト' ウチュウ <ヒジ' ョウ リモコン 1>	
業務放送 一般リモコンから放送	ホウソウ キト' ウチュウ <イッパ' ン リモコン>	
業務放送 マルチリモコンマイクから放送	ホウソウ キト' ウチュウ <マルチリモコン 1>	
業務放送 外部制御機器から放送	ホウソウ キト' ウチュウ <ガ' イブ' セイキ' ヨキト' ウ>	
業務放送 チャイムから放送	ホウソウ キト' ウチュウ <チャイム>	
業務放送 アナウンスから放送	ホウソウ キト' ウチュウ <アナウンス>	
業務放送 本機からのエリア放送	01 02 05 06 07 09 10	
業務放送 本機からの個別放送	コヘ' ツ ホウソウ ----012	
業務放送 本機からの一斉放送	イッセイ ホウソウチュウ	
点検モード中	テンケンモード' チュウ	

操作のしかた

電源を入れる

本機の電源を入れます。

- 1 電源スイッチを押す。
電源表示が点灯します。



放送先の選択

本機からの放送先を選択します。放送エリアは、主装置側で設定します。

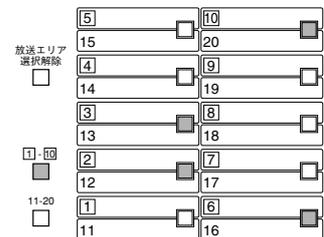
<放送エリアボタンについて>

放送エリアボタンは、接続するシステムによって、操作できる数が異なります。

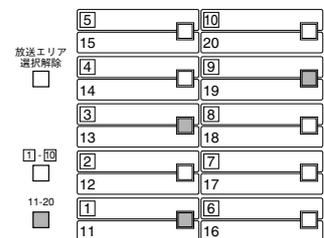
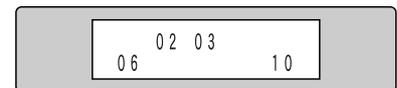
接続システム	選択できる放送エリア数
壁掛形非常用放送設備 WK-EK110/EK115/EK120	最大20
ラック形非常用放送設備 WL-7050A/7550A	最大10 ※11~20は使用できません。
システムコントローラー WL-K500	最大10 ※11~20は使用できません。
AVステーション WL-AV200A/AV190	最大10 ※11~20は使用できません。

ここでは、放送先2,3,6,10,11,13,19を例に説明します。

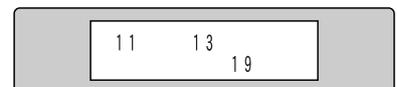
- 1 放送エリア切換ボタン **1-10** を押す。
1-10 が点灯します。
 - 2 放送エリアボタン **2**、**3**、**6**、**10** を押す。
選択したボタンが点灯し、放送エリア2、3、6、10が選択されます。
 - 3 放送エリア切換ボタン **11-20** を押す。
11-20 が点灯します。
このとき液晶には、放送エリア1~10のうち、手順2で選択されたエリアの番号が表示されます。
 - 4 放送エリアボタン **11**、**13**、**19** を押す。
選択したボタンが点灯し、放送エリア11,13,19が選択されます。
- ▶ 再度、エリア切換ボタン **1-10** を押すと、液晶は右画面に切り換わります。



エリア選択画面



エリア選択画面



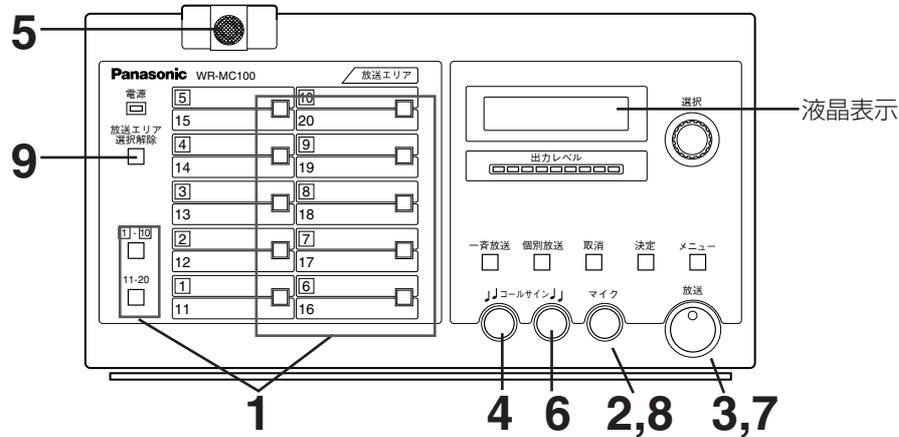
<放送先について>

- 放送エリアボタンが橙色に点灯している放送先は、本機より優先順位の高い放送が行われており、本機からは放送できません。
- 主装置側で割り当てられていないと、放送エリアボタンを押しても選択できません。

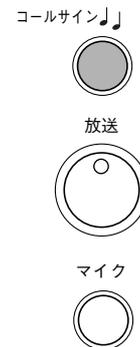
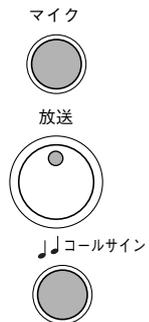
操作のしかた

放送のしかた

マイクによるアナウンス放送を例に手順を示します。



- 1 放送先を選択する (☞ 11ページ)。
- 2 マイクボタンを押す。
マイクボタンが点灯します。
- 3 放送ボタンを押す。
放送ボタンの表示灯が点灯します。
- 4 コールサイン上りボタンを押す。
コールサイン上りボタンが点滅し、コールサイン上りが放送されます。コールサインは内蔵スピーカー、外部スピーカーでモニターできます。
- 5 コールサインボタンの点滅終了後、マイクに向かって放送する。
選択されている放送先にアナウンスが流れます。
▶ 音量の調節は、☞ 15ページ。
- 6 コールサイン下りボタンを押す。
コールサイン下りボタンが点滅し、コールサイン下りが放送されます。
- 7 再度、放送ボタンを押して放送を終了する。
放送ボタンの表示灯が消灯します。
- 8 再度、マイクボタンを押す。
マイクボタンが消灯します。
- 9 解除ボタンを押す。
選択した放送エリアのボタンが消灯し、選択が解除されます。



<コールサインについて>

放送ボタンを押すと自動的にコールサインが流れるように設定することができます。ユニット設定メニューの「コールサイン キドウ」画面で「ジドウ」に設定してください (☞ 37ページ)。

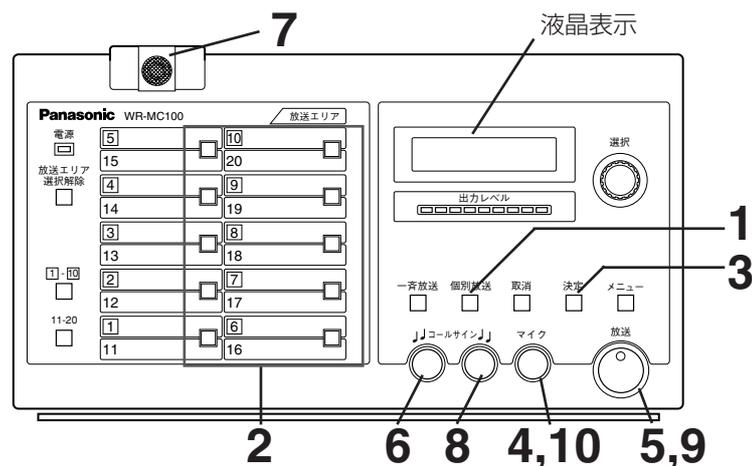
<マイクボタン・放送ボタンについて>

工場出荷状態では、押すたびにON/OFFが切り換わります (ロック設定)。押している間だけONにする場合は、ユニット設定メニューの「ハウソウ スイッチ」、「マイク スイッチ」画面で「ノンロック」に設定してください (☞ 41、42ページ)。

個別放送のしかた

放送先を「スピーカー回線」単位で個別に選択して、マイク放送や外部音声入力の放送ができます。個別の放送先は、接続されるシステムによって、選択できるスピーカー回線が異なります。

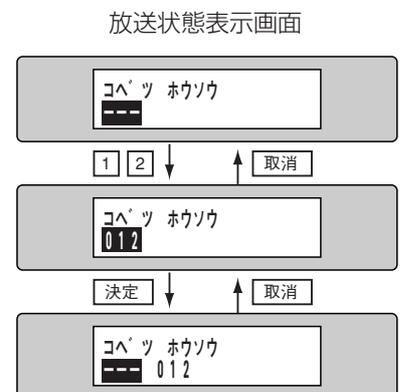
接続システム	選択できるスピーカー回線	
壁掛形非常用放送設備		
WK-EK110	10局	最大10
WK-EK115	15局	最大15
WK-EK120	20局	最大20
ラック形非常用放送設備		
WL-7050A/7550A	最大160	※システム構成によって異なります。
システムコントローラー		
WL-K500	最大160	※システム構成によって異なります。
AVステーション		
WL-AV200A/AV190	最大70	※システム構成によって異なります。

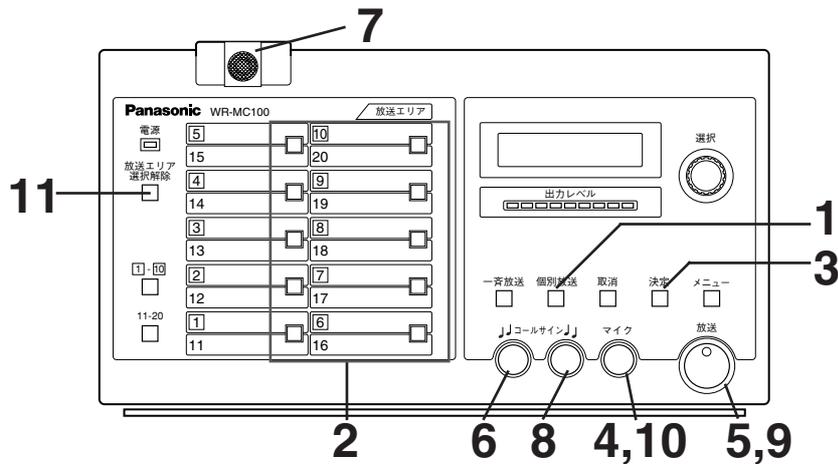


- 1 個別放送ボタンを押す。
- 2 放送先のスピーカー回線番号を放送エリアボタン「1」～「10」で入力する。

液晶に入力したスピーカー番号が表示されます。入力したスピーカー番号を取り消す場合は、「取消」を押してください。

スピーカー回線番号	液晶表示
10のときは「1」、「10」と押します。	010
22のときは「2」、「2」と押します。	022
100のときは「1」、「10」、「10」と押します。	100
125のときは「1」、「2」、「5」と押します。	125





3 **決定** ボタンを押す。

4 **マイク** ボタンを押す。
マイクボタンが点灯します。

5 **放送** ボタンを押す。
放送ボタンの表示灯が点灯します。

6 **コールサイン上り** ボタンを押す。
コールサイン上りボタンが点滅し、コールサイン上りが放送されます。コールサインは内蔵スピーカー、外部スピーカーでモニターできます。

7 **コールサイン** ボタンの点滅終了後、**マイク** に向かって**放送** する。
選択されている放送先にアナウンスが流れます。
▶ 音量の調節は、 15 ページ。

8 **コールサイン下り** ボタンを押す。
コールサイン下りボタンが点滅し、コールサイン下りが放送されます。

9 再度、**放送** ボタンを押して**放送** を終了する。
放送ボタンの表示灯が消灯します。

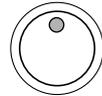
10 再度、**マイク** ボタンを押す。
マイクボタンが消灯します。

11 **解除** ボタンを押す。
選択した放送エリアのボタンが消灯し、選択が解除されます。

マイク



放送



♪コールサイン



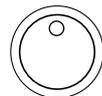
♪♪コールサイン



コールサイン♪



放送



マイク



マイク音量の調節のしかた

マイクの音量を調節できます。放送しながら、調節することができます。

音量：0～10段階（1段階単位）（工場出荷時設定：音量バー 4点灯）

- 1 **メニュー** ボタンを押し、メインメニュー「マイクオンリョウ」を表示する。

画面上の「*.***」はバージョン番号です。

- 2 **決定** ボタンを押し。

マイク音量調節画面が表示されます。

- 3 **選択ダイヤル**を回し、音量を調節する。

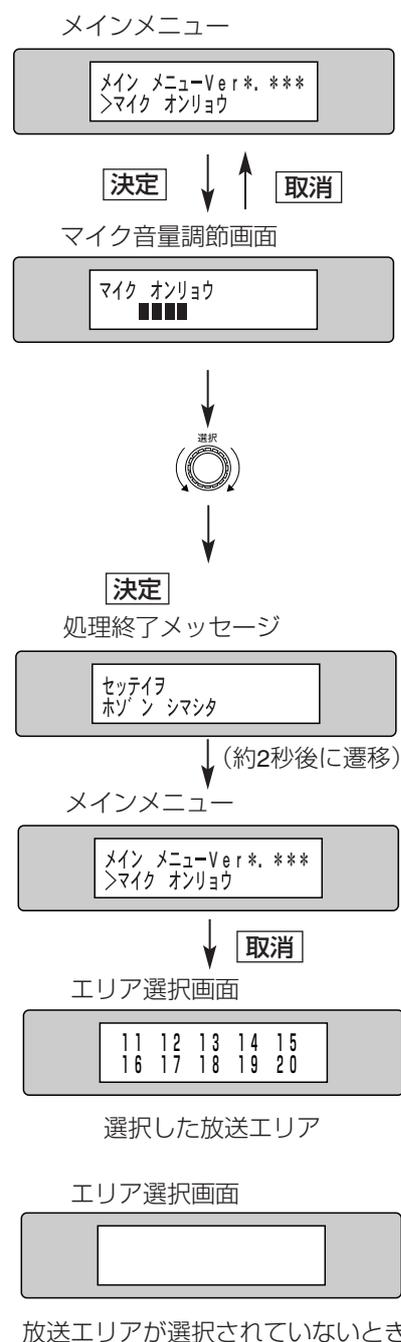
右へ回すと音量が大きくなり、左へ回すと音量が小さくなります。■が多いほど音量の設定が大きくなります。

- 4 **決定** ボタンを押し。

処理終了メッセージが表示（約2秒間）され、メインメニューに戻ります。

- ▶ **決定** ボタンを押さないと、設定した内容に変更されません。

- 5 終了するときには、エリア選択画面が表示されるまで**取消** ボタンを押し。



故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状

原 因 ・ 対 策

参 照 ペ ー ジ

本機から放送ができない

電源表示灯が点灯していますか？

- ➡消灯の場合、本機に電源が供給されていません。本機前面の電源スイッチが「入」になっているか確認してください。
- ➡本機を接続した主装置の電源が入っているか確認してください。
- ➡ACアダプター（別売り）を使用した場合は、アダプターが接続されているか確認してください。

11

非常用放送設備から非常放送が放送されていませんか？

- ➡非常用放送設備からの電源供給が止まります。ACアダプターを使用している場合は、液晶画面に「ヒジョウ ホウソウチュウ」と表示されます。

10

液晶表示が、「キンキュウ ホウソウチュウ」になっていませんか？

- ➡主装置が緊急放送中の場合には、本機からの放送はできません。

10

本機より優先順位の高い機器が放送中になっていませんか？

- ➡本機より優先順位の高い機器が放送されている場合は、本機からの放送はできません。優先順位の設定状態はシステムによって異なります。放送中の機器については液晶画面に表示されます。

10

液晶表示が、「テンケンモード チュウ」になっていませんか？

- ➡主装置側で点検モードによる点検作業をしている場合には、本機からの放送はできません。

10

症 状	原 因 ・ 対 策	参 照 ペ ー ジ
<p>放送音量が大きい (小さい)</p>	<p>➔本機は、マイク音量の調節機能を持っています。「マイク オンリョウ」画面で適切な音量に調節してください。さらに、ユニット設定により「コールサイン音量」、「外部入力音声音量 (BGM音量)」の調節が可能です。ユニット設定画面操作にはパスワードが必要です。</p>	<p>15</p>
<p>「エラー ハッセイ<ツウシンエラー>」が液晶画面に表示された。</p>	<p>本機を接続した主装置と通信が正常に行われていません。 ➔主装置との接続に問題があるか、主装置の電源が入っていない可能性があります。</p>	<p>—</p>
<p>「モウイチド ソウサシテクダサイ」が液晶画面に表示された。</p>	<p>本機を接続した主装置との通信が一時的に停止した場合には表示されます。 主装置と他の機器との通信が混雑し、本機からの操作が受け付けられなかった場合には表示されます。 ➔本メッセージが表示された場合には、再度操作をしてください。本メッセージは、ほとんどの場合、表示されることはありません。また、表示されても通常動作に問題はありません。</p>	<p>—</p>
<p>「パスワード ガ チガイマス」が液晶画面に表示された。</p>	<p>ユニット設定を行うには、パスワードが必要です。 ➔取消 ボタンを押して、正しいパスワードを入力してください。 パスワードは、製品出荷時には「0000」に設定されています。</p>	<p>—</p>



警告

工事は必ず販売店に依頼してください。

工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にし、本機に電源を供給する主装置側の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

設置上のお願

●設置場所について

- 直射日光の当たるところや温風吹き出し口の近くは避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置しないでください。
- トランス、調光器、映像機器、CRTモニターなどから、できるだけ離してください。誘導ノイズを受ける恐れがあります。
- 電波受信機（ラジオやテレビ、ワイヤレスマイクの受信機）の近くで使用すると、電波受信機側で雑音や誤動作の原因となることがあります。本機と電波受信機はできるだけ離してご使用ください。

●壁取付について

- モルタル壁へのねじによる直取り付けはしないでください。強度不足による落下の原因や、発熱による発火の原因となります。

●接続線材について

- 接続のしかた（※24ページ）に記載されている線材をご使用ください。
- SIGNAL GND端子への結線は、線材が終端スイッチに当たらないように引き回してください。
- 本機の底部にはケーブルクランプが取り付けられています。付属の束線バンドで線材を束ねるときにご使用ください。

●静電気について

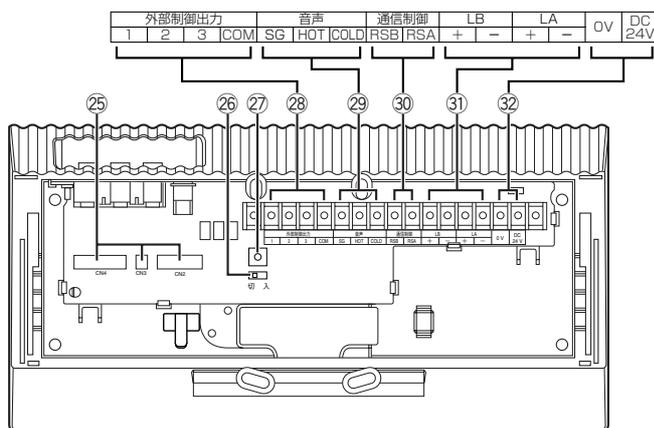
- 静電気による破損を防止するために、作業を始める前に金属部に触れて、人体に帯電している静電気を放電してください。

●放送先表示について

- 設定した放送エリアは放送エリアボタン左横欄に名称を表示してください。ラベルで表示するときは、高さ9 mmのものを使用してください。

各部のなまえと働き

台座部



- ②⑤ 本体操作部接続端子 [CN2、CN3、CN4]
本体操作部背面からの接続コネクタを接続します。
- ②⑥ RS-485終端スイッチ [通信終端 切入]
終端抵抗を設定します。
- ②⑦ SIGNAL GND端子
大地アースに落としてください。
- ②⑧ 外部制御出力接続端子 [外部制御出力 1、2、3、COM]
この端子から外部機器をメイクすることができ、1～3の3系統を制御できます。制御するには、本機のユニット設定メニューで制御出力1～3を設定します。

- ②⑨ 音声接続端子 [音声 SG、HOT、COLD]
音声回線を接続します。
- ③⑩ 通信制御 [RSA、RSB]
使用しません。
- ③⑪ 通信接続端子 [LA +／-、LB +／-]
RS-485の通信線を接続します。
LA +／-は使用しません。
- ③⑫ 電源接続端子 [DC 24 V、0 V]
DC 24 Vを接続します。

設置のしかた

本機は、据置型 (P.19ページ)、壁掛型 (P.21ページ) として設置できます。



警告

必ず電源を切ってから行ってください。

本機に電源を供給する機器からの電源を遮断した状態で行ってください。電源が入った状態で行うと、感電または機器を破損する原因となります。

据置型として使用する場合

本機を卓上に置いて使用する場合は、以下の手順で設置してください。

1 本機背面の▲マークで示されたねじを外す。

使用ねじ：なべ頭 M3×8

2 本体部を矢印の方向いっぱいにはずす。

3 本体部を台座から外し、線材3本を外す。

- (1) 線材固定金具を上へあげて、線材を外す。
- (2) 接続コネクタを外す。

4 台座の通線部 (3箇所) のいずれかを、ニッパーなどで切り取る。

5 線材を端子台に結線する。

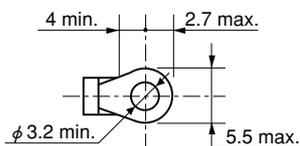
線材仕様、接続の詳細は24～28ページをお読みください。

線材の先端に丸端子を取り付けてください。
丸端子はJIS C 2805 RAV1.25-3に適合するものをご使用ください。

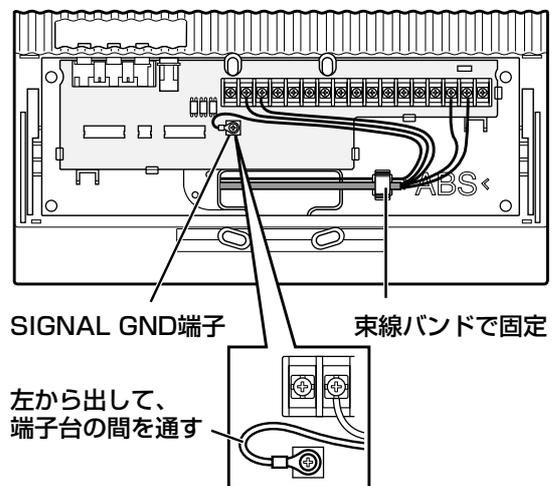
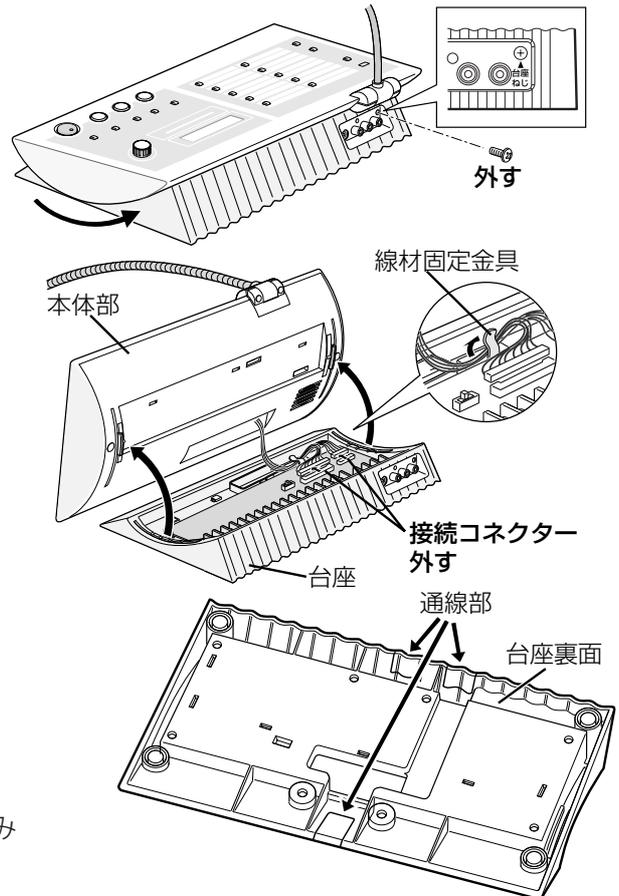
結線の手順は以下のとおりです。

- ①アース線をSIGNAL GND端子に左出しの方向で結線します。
 - ②アース線をSIGNAL GND端子と端子台の間を通します。
 - ③端子台に線材を結線します。
- 結線した線材が浮き上がらないように、付属の束線バンドで固定します。
束線したバンドも含めて、線材は基板面より低くしてください。

台座内部には、線材の余長分を残さないでください。



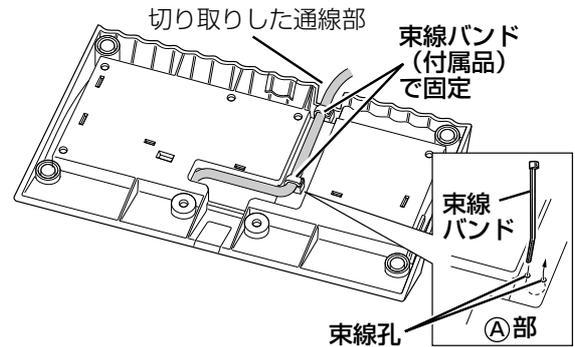
丸端子形状



設置のしかた

6 内面から出した線材を溝に沿って這わせ、付属の束線バンドで固定する。

Ⓐの箇所は、溝面に開けた孔に束線バンドを通して固定します。



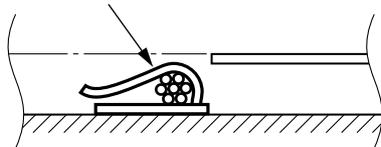
7 台座に線材3本を接続し、本体部を取り付ける。

(1) 本体部の接続コネクタを台座部に接続する。

確実にコネクタが挿し込まれたことを確認する。

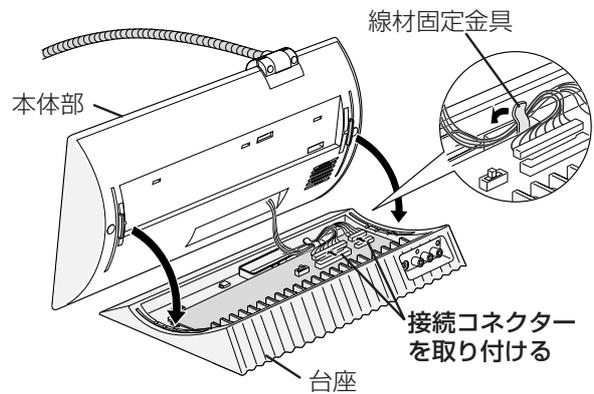
(2) 線材固定金具で線材を固定する。

線材固定金具は基板面より低くする

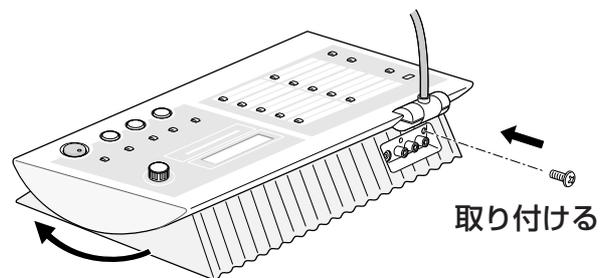


(3) 通信終端の設定を行う。(☞24ページ)

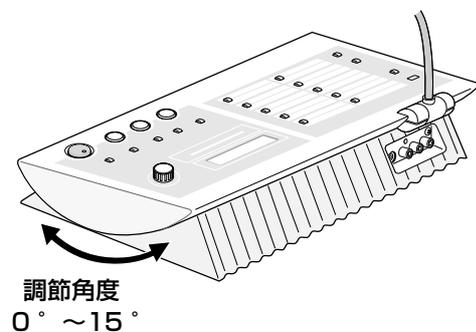
(4) 本体部の突起部を台座の溝にはめ込む。



8 本体部を手順1と反対方向にスライドさせて、本機背面に手順1で外したねじを取り付ける。



9 使いやすい角度に調節する。



壁面に取り付けて使用する場合

本機を壁に取り付けて使用する場合は、以下の手順で設置してください。

1 本機背面の▲マークで示されたねじを外す。

使用ねじ：なべ頭 M3×8

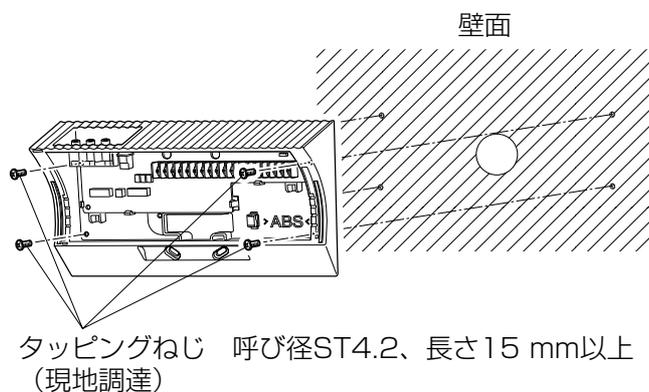
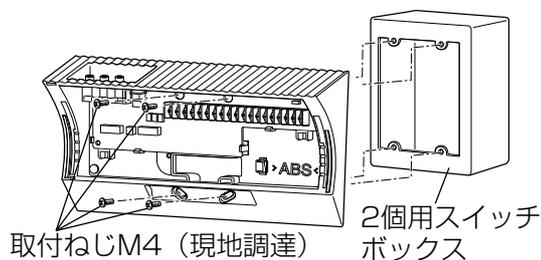
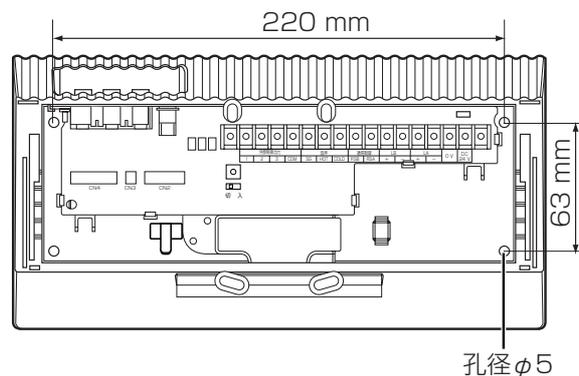
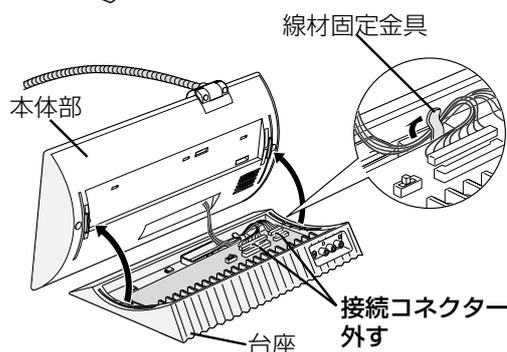
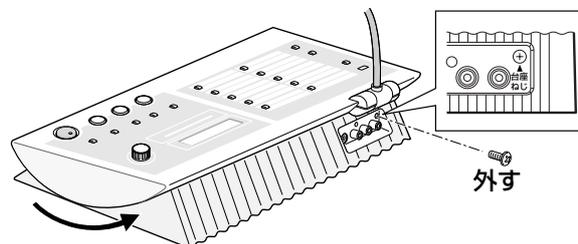
2 本体部を矢印の方向いっぱいにはずす。

3 本体部を台座から外し、線材3本を外す。

- (1) 線材固定金具を上にあげて、線材を外す。
- (2) 接続コネクタを外す。

4 台座部を壁面に取り付ける。

- ・台座を壁面に直接取り付けるときは、台座のゴム足を外してください。
- ・取り付けは、化粧合板やボード製の間仕切り程度に使用されている壁などは避け、しっかりした柱や板壁に取り付けてください。
- ・線材を台座内面に引き出してから取り付けてください。
- ・線材を壁面に沿って配線するときは、台座の通線部を切り取って開けてください (P19ページ)。
- ・スイッチボックスに取り付ける場合は、JIS適合の2個用ボックスを使用してください。



重要 モルタル壁へのねじによる直取り付けは、しないでください。強度不足による落下の原因や、発熱による発火の原因となります。

設置のしかた

5 線材を台座内面に引き出し、端子台に結線する。

線材仕様、接続の詳細は24~28ページをお読みください。

線材の先端に丸端子を取り付けてください。
丸端子はJIS C 2805 RAV1.25-3に適合するものをご使用ください。

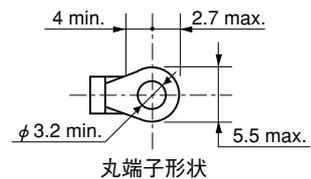
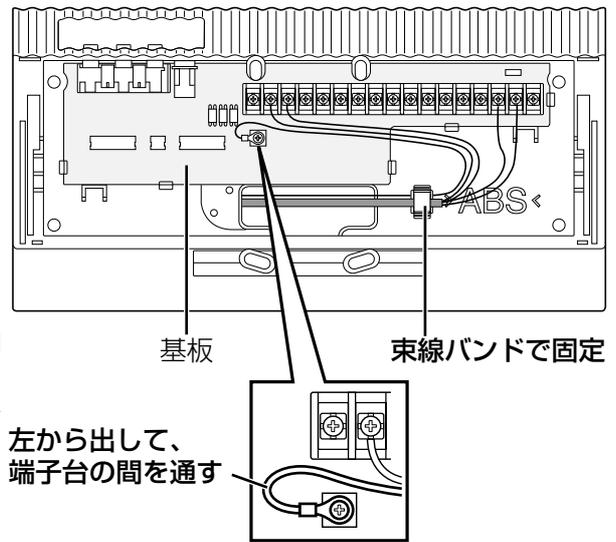
結線の手順は以下のとおりです。

- ①アース線をSIGNAL GND端子に左出しの方向で結線します。
- ②アース線をSIGNAL GND端子と端子台の間を通します。
- ③端子台に線材を結線します。

結線した線材が浮き上がらないように、付属の束線バンドで固定します。

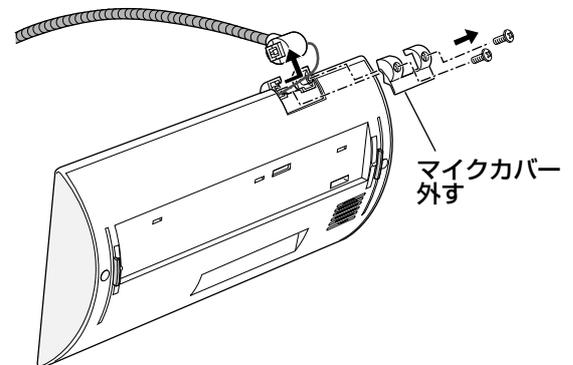
束線したバンドも含めて、線材は基板面より低くしてください。

台座内部には、線材の余長分を残さないで、スイッチボックス内や壁面内側に収納してください。

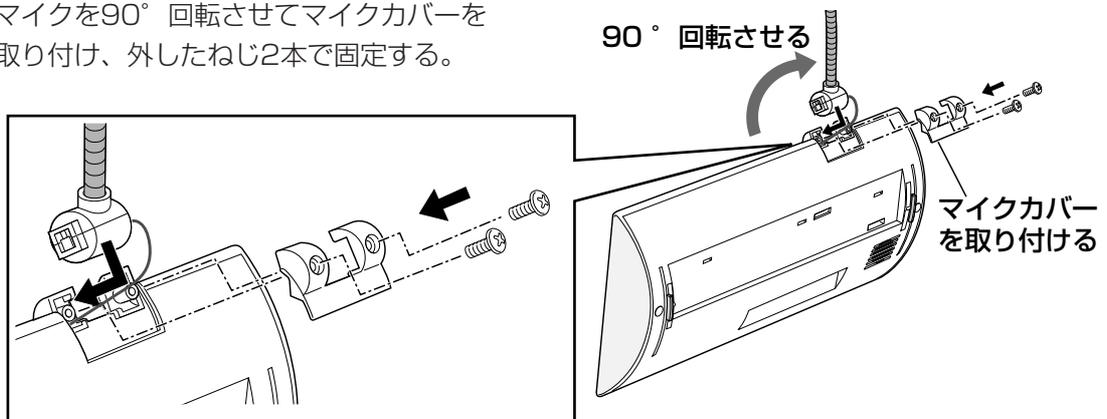


6 フレキシブルマイクの向きを変える。

- (1) 本体部底面のねじ2本を外して、マイクカバーを外す。



- (2) マイクを90°回転させてマイクカバーを取り付け、外したねじ2本で固定する。



重要

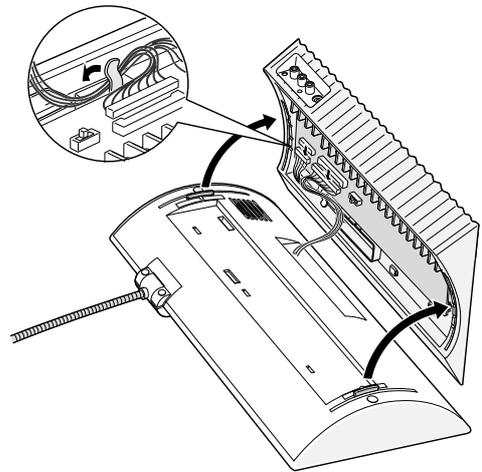
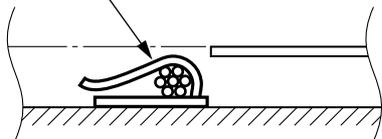
- ・ねじはきつく締めすぎないでください。ねじ山が破損する原因となります。
- ・マイク、マイクカバーを取り付ける際は、内部の線材をはさんだり、強く引っ張ったりしないでください。線材が破損する原因となります。

7 台座の基板に本体部からの線材3本をコネクタ接続し、本体部を取り付ける。

(1) コネクタ接続した線材を、線材固定金具で固定する。

確実にコネクタが挿し込まれたことを確認する。

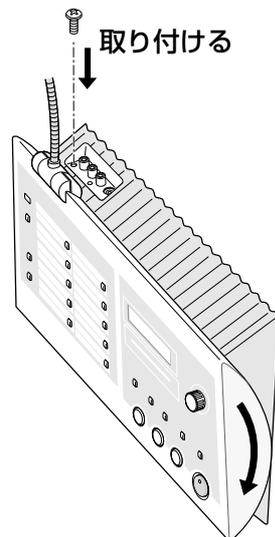
線材固定金具は基板面より低くする



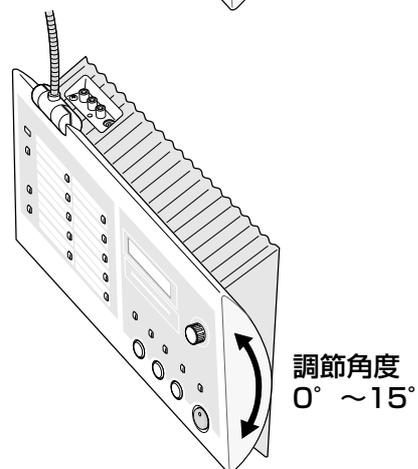
(2) 通信終端の設定を行う。(☞24ページ)

(3) 本体部の突起部を台座の溝にはめ込む。

8 本体部を手順1と反対方向にスライドさせ、本機背面に手順1で外したねじを取り付ける。



9 ボタン操作がしやすい角度に本体部の傾きを調節する。



接続のしかた

線材の線径について

データ線の距離と線径

データ線はペア線を使用してください。
 (平行線では外部ノイズの影響によって、信号(データ)が乱れることがあります。)
 データ線(LB+, LB-)の総延長距離は、1 000 mまでです。

線径 (mm)	主装置側 — マルチリモコンマイク間の距離									
	200 m	300 m	400 m	500 m	600 m	700 m	800 m	900 m	1000 m	
φ0.65	可能	不可								
φ0.9	可能					不可				
φ1.2	可能									

2芯シールド線の距離と線径

線径 (mm)	主装置側 — マルチリモコンマイク間の距離									
	200 m	300 m	400 m	500 m	600 m	700 m	800 m	900 m	1000 m	
φ0.35以上	可能					不可				
φ0.5以上	可能									

電源線の距離と線径、ケーブル本数

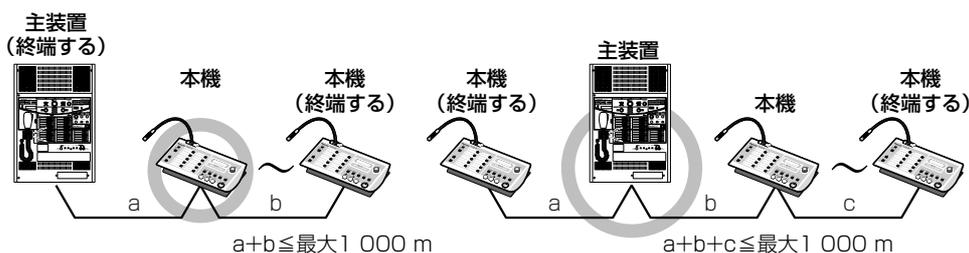
電源線は線径により延長距離に制約がありますので、下表を参照してペア数を決定してください。

線径 (mm)	主装置側 — マルチリモコンマイク間の距離									
	200 m	300 m	400 m	500 m	600 m	700 m	800 m	900 m	1000 m	
φ0.9	1	2	2	3	3	不可	不可	不可	不可	
φ1.2	1	1	2	2	2	2	3	3	3	

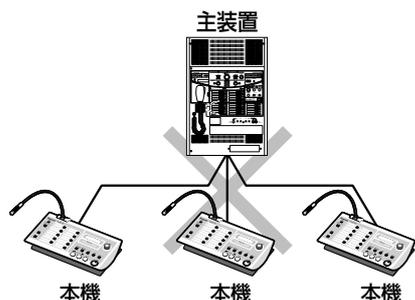
データ線の接続方法

データ線の接続終端のユニットは、本機の台座部の通信終端スイッチSW1を「入」にして、終端してください。

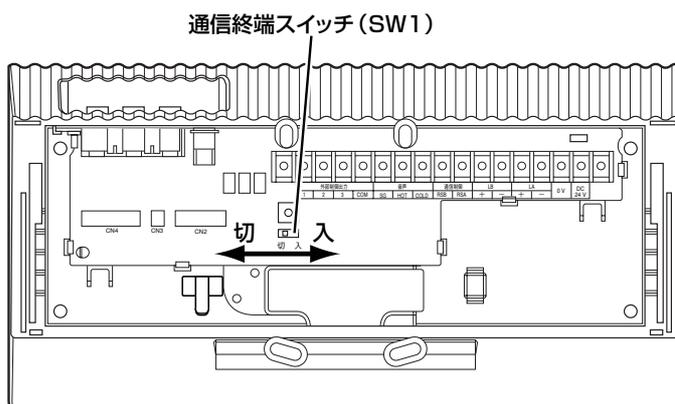
良い接続例



悪い接続例 (スター配線)



終端設定のしかた (台座部)



1. 壁掛形非常用放送設備との接続

接続の前に「設置のしかた」(P19ページ～)をお読みください。

接続後の設定については、壁掛形非常用放送設備の工事説明書をお読みください。

マルチリモコンマイク
端子台 (1台目)

外部制御出力			音声			通信制御		LB		LA		OV	DC 24V
1	2	3	COM	SG	HOT	COLD	RSB	RSA	+	-	+		

マルチリモコンマイク
端子台 (2台目)

外部制御出力			音声			通信制御		LB		LA		OV	DC 24V
1	2	3	COM	SG	HOT	COLD	RSB	RSA	+	-	+		

マルチリモコンマイク
端子台 (n台目)

外部制御出力			音声			通信制御		LB		LA		OV	DC 24V
1	2	3	COM	SG	HOT	COLD	RSB	RSA	+	-	+		

2芯シールド線

※電源線を圧着端子でまとめるときは、電圧降下を抑えるため、非常用放送設備側の近くでまとめてください。

※ACアダプターから電源の供給を受けるマルチリモコンマイクは、電源線の結線をしないでください。

※接続した線材は、本機の近くで束ねたり、たるませたりしないでください。誘導ノイズを受ける恐れがあります。

DC24V
OVCOM

圧着端子(スリーブ)でまとめる

DC24V 最大1.2A	CPU OFF	LB+	遠隔操作器 (非常リモコン)
OV COM	EMG	LB-	
H	モニ 出力1	H	入力1(3)
C	出力2	C	入力2(4)
DC24V 最大1A	LB+	H	マルチリモコン 音声入力
OV	LB-	C	
DC24V 最大150mA	上り	サコ イプル	E (5)
OV	下り	放送中出力	
COM	1	制御入力	一般リモコン 制御入力
一斉	2	制御入力	

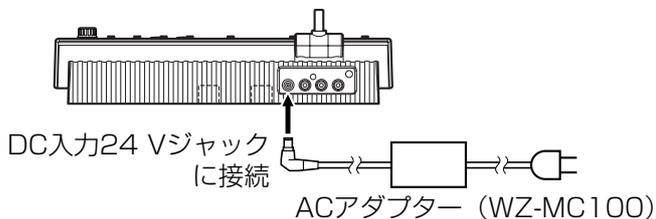
壁掛形非常用放送設備端子台

● DC24 V電源の接続

壁掛形非常用放送設備から本機に電源を供給できる台数は、非常リモコンの接続台数で変わります(下表参照)。

	接続された非常リモコン台数	電源の供給を受けられる本機の台数
接続可能台数	0	4
	1	3
	2	2
	3	1
	4	0

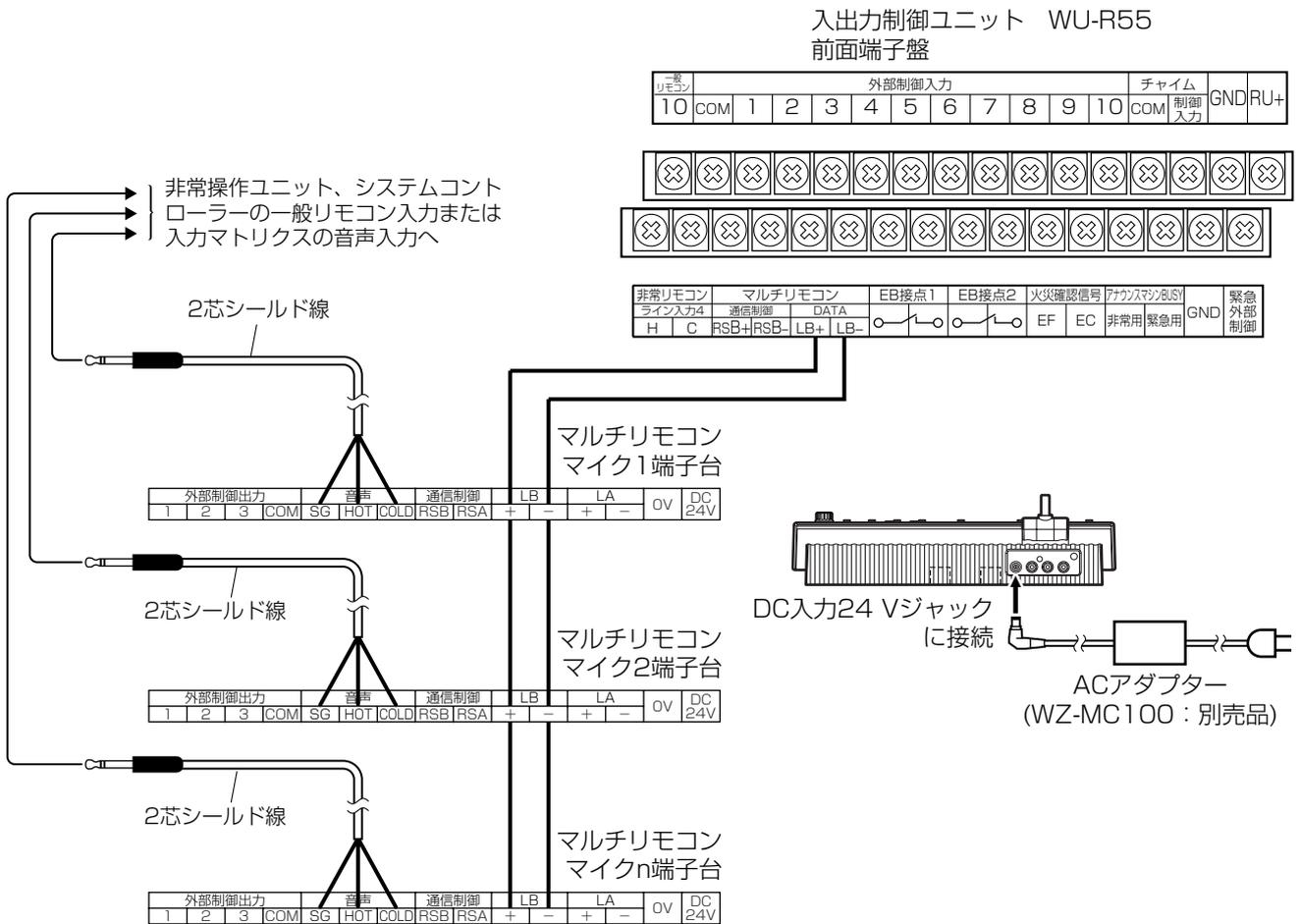
マルチリモコンマイク接続台数を増やす場合は、別売のACアダプター(WZ-MC100)を本機の背面のDC入力24Vに接続してください。



接続のしかた

2. ラック形非常用放送設備、システムコントローラーとの接続

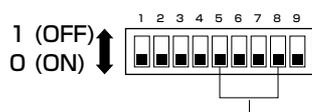
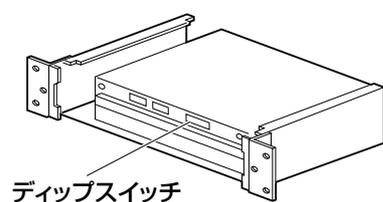
ラック形非常用放送設備（WL-7050A/7550A）とシステムコントローラー（WL-K500）に本機を最大8台まで接続できます。接続は入出力制御ユニット（WU-R55）に行います。
 本機に供給するDC24 V電源は、別売のACアダプター（WZ-MC100）を使用してください。
 （ラック形非常用放送設備やシステムコントローラーから電源供給することはできません）



※接続した線材は、本機の近くで束ねたり、たるませたりしないでください。誘導ノイズを受ける恐れがあります。

● 入出力制御ユニット (WU-R55) の設定

マルチリモコンマイクの接続台数、設置



マルチリモコンマイク WR-MC100の台数	
台数	設 定
	5 6 7 8
なし	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1台	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2台	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3台	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4台	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
5台	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
6台	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
7台	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
8台	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

● マルチリモコンマイクの設定

マルチリモコンマイクで以下の設定を行ってください。

- ①ユニットアドレスを設定します。(☞31ページ)
- ②通信速度設定を4 800 bpsに設定します。(☞34ページ)
- ③マルチリモコンマイクのユニット設定を行います。(☞35～46ページ)

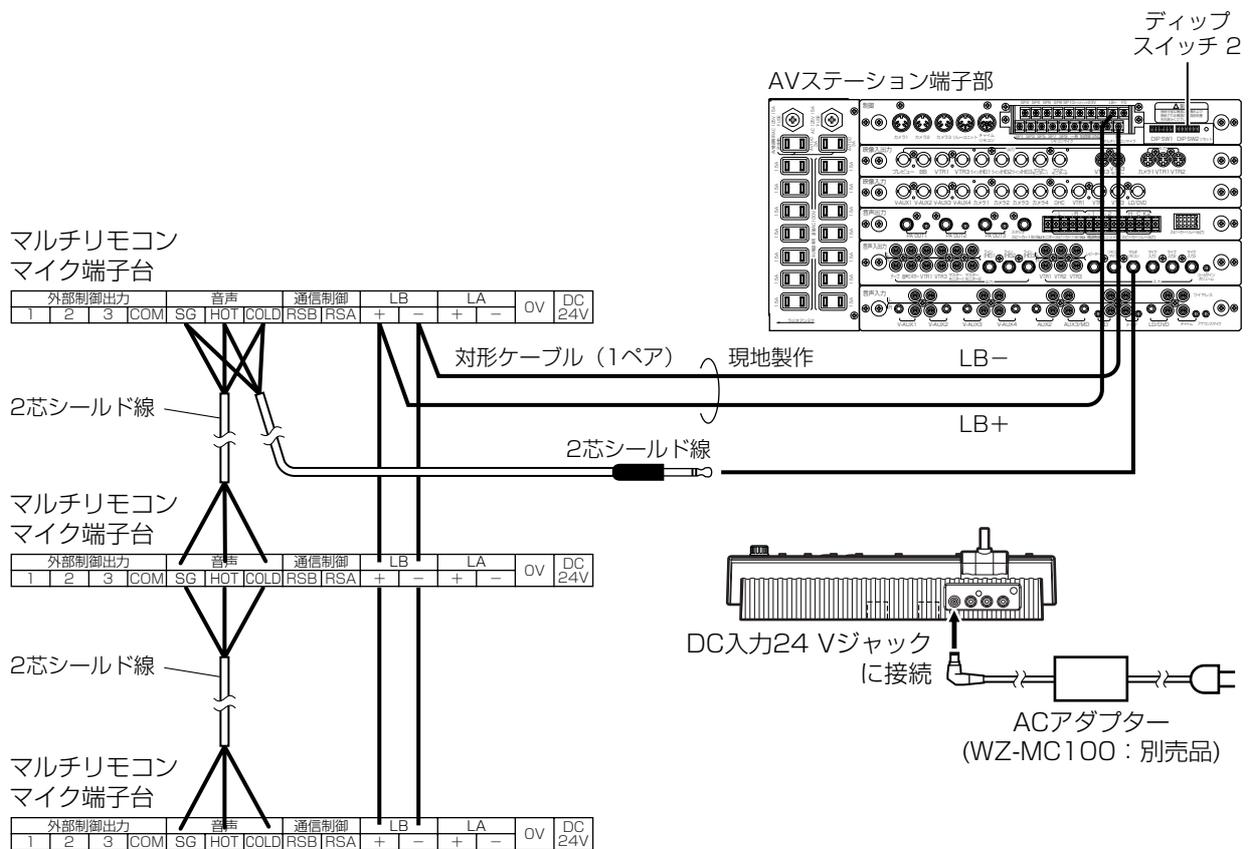
接続のしかた

3. AVステーション (WL-AV200A/AV190) との接続

本機を最大8台まで接続できます。

● 接続のしかた

本機を接続するAVステーション端子部の開けかたは、AVステーションの工事説明書をお読みください。本機に供給するDC24 V電源は、別売のACアダプター (WZ-MC100) を使用してください (AVステーション側から電源供給することはできません)。

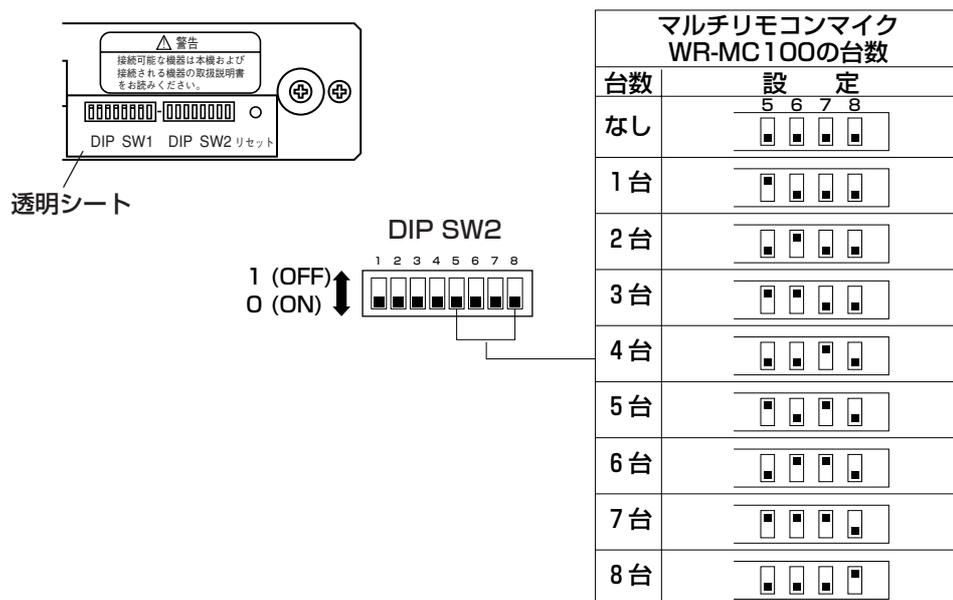


※接続した線材は、本機の近くで束ねたり、たるませたりしないでください。誘導ノイズを受ける恐れがあります。

● AVステーションの設定

AVステーション端子台制御パネル右側にあるディップスイッチ2 (DIP SW 2) の5～8を接続する台数に合わせて設定します。

- ①ディップスイッチの上に貼られている透明シートをはがします。(設定後、貼り直しますので捨てないでください。)
- ②ディップスイッチを設定します。
- ③設定後、はがした透明シートを元の位置に貼ります。



● マルチリモコンマイクの設定

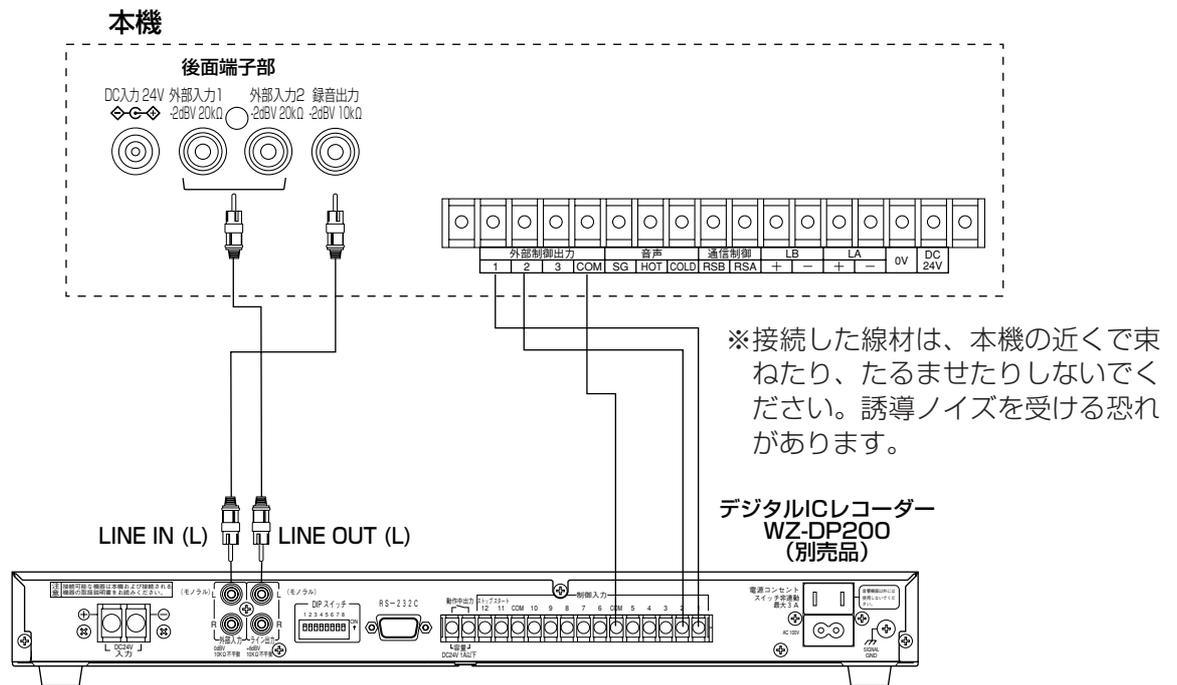
ユニット設定メニューにて通信速度設定を4 800 bpsに設定します (☞34ページ)。

接続のしかた

4. 外部音源との接続

本機とデジタルICレコーダーとの接続例を示します。

- (1) 本機のコールサイン上り／下りボタンに連動して、デジタルICレコーダーのオリジナル音源が放送できます。
- ・コールサイン上り／下りボタンに外部制御出力1、2を設定します（☞43ページ）。内蔵コールサインが出力されないように、コールサイン音量を最小に設定してください（☞35ページ）。
 - ・オリジナル音源の音量は、BGM音量設定（☞38ページ）と、デジタルICレコーダーのメッセージ音量つまみで調整します。



<デジタルICレコーダーについて>

デジタルICレコーダーで、以下の設定を行ってください。詳しくは、デジタルICレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

- ①ディップスイッチの3～5を「OFF」に設定します。（ダイレクト再生で動作します。）
- ②制御入力1、2にオリジナル音源を割り当てます。
- ③機能キーF1、F2に簡易録音するメッセージ番号を割り当てます。

- (2) 本機のマイク放送をデジタルICレコーダーで録音し、放送することができます。
- ・本機の録音出力をデジタルICレコーダーのLINE IN (L) に接続します。

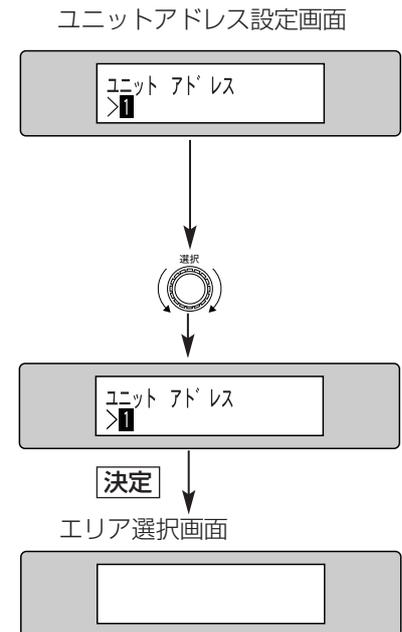
ユニットアドレスについて

マルチリモコンマイクには1台ごとにアドレスの設定が必要です。
壁掛形非常用放送設備（WK-EK110/EK115/EK120）の場合、最大4台まで設定できます。
ラック形非常用放送設備（WL-7050A/7550A）、システムコントローラー（WL-K500）、AVステーション（WL-AV200A/AV190）の場合は、最大8台まで設定できます。

設定のしかた

ユニットアドレスは、1～4（1～8）の間でヌケやダブりのないように、必ず1から順に設定してください。
（工場出荷時設定：1）

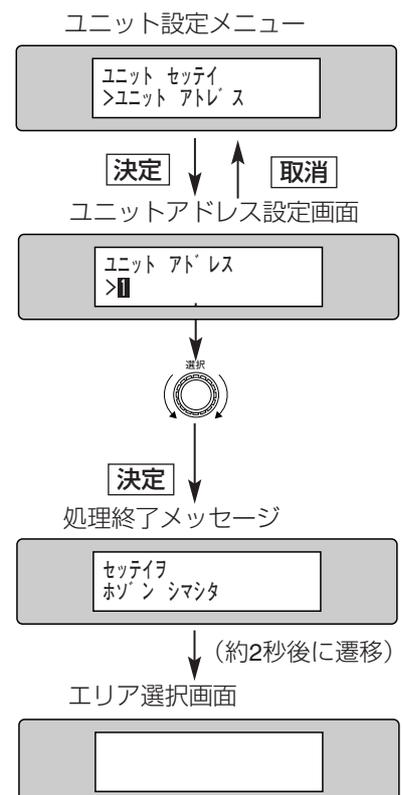
- 1 電源スイッチを「入」にする。**
右画面が表示されます。
 - ▶ ユニットアドレスが設定されていない状態（工場出荷時または設定初期化後）では、電源投入時に、ユニットアドレス設定画面に自動的に移行します。
- 2 選択ダイヤルを回し、ユニットアドレスを選択する。**
- 3 [決定] ボタンを押して、設定する。**
エリア選択画面が表示されます。



変更・追加のしかた

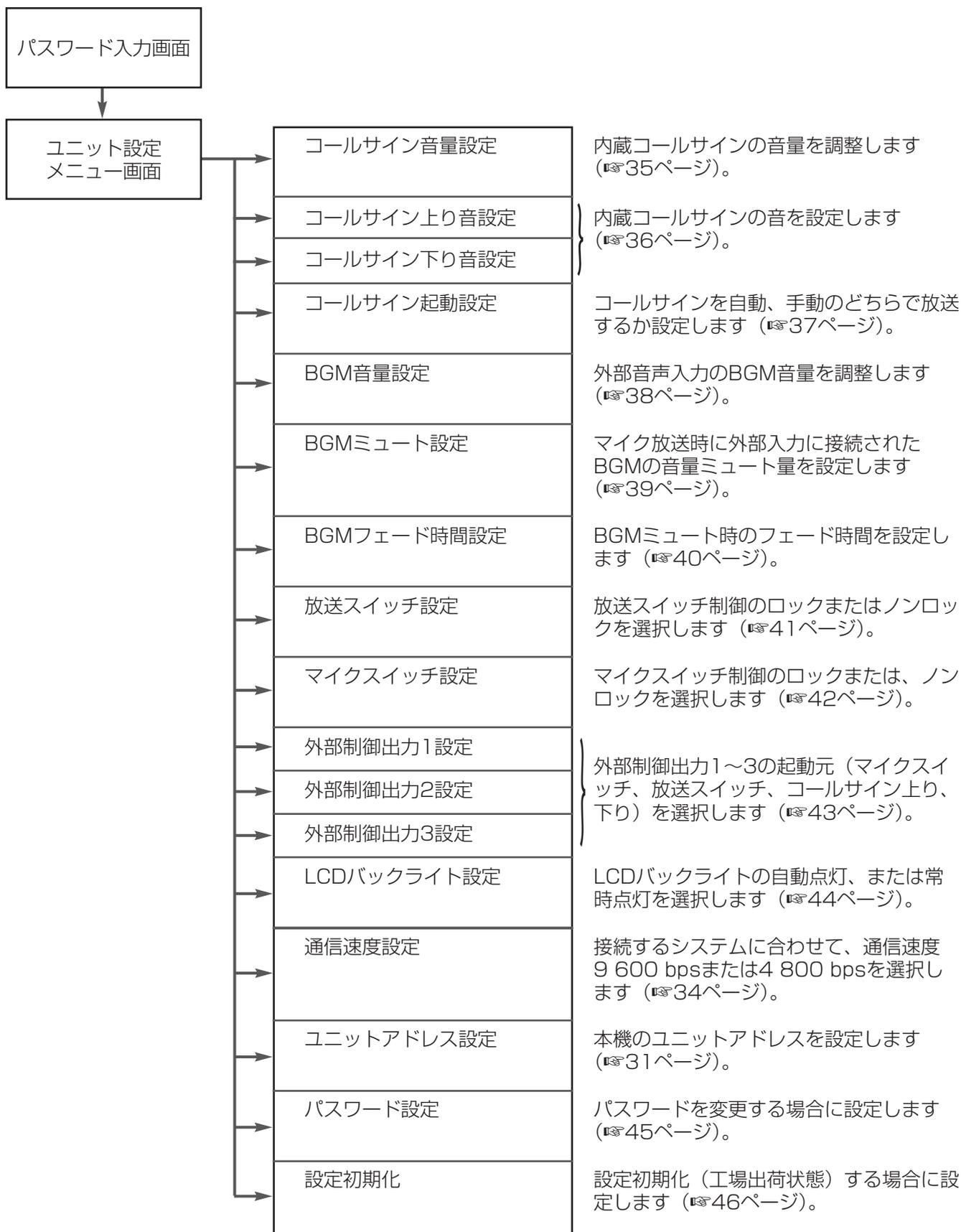
ユニットアドレスの変更・追加のしかたを以下に示します。

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「ユニットアドレス」を表示する（☞33ページ）。**
- 2 [決定] ボタンを押す。**
ユニットアドレス設定画面が表示されます。
- 3 選択ダイヤルを回し、「1」～「8」を選択する。**
- 4 [決定] ボタンを押す。**
処理終了メッセージが表示（約2秒間）され、エリア選択画面に戻ります。
 - ▶ [決定] ボタンを押さないと、設定した内容に変更されません。ユニットアドレスを設定しないときは、[取消] ボタンを押してユニット設定メニューに戻ります。



ユニット設定メニューについて

ユニット設定メニューでは、下表の項目を設定できます。

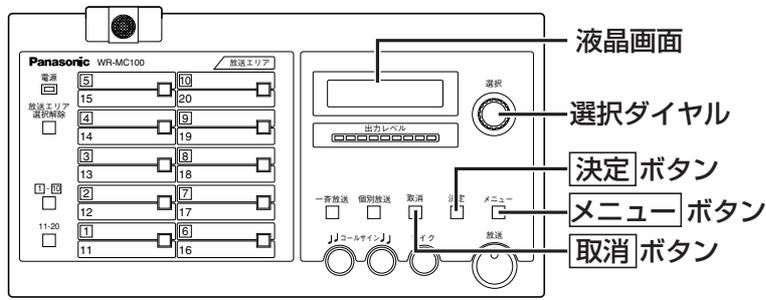


ユニット設定メニューの表示と消去

ユニット設定メニューで各種設定を行います。

※4けたのパスワードが必要です。

(初期パスワード：0000)



1 **メニュー** ボタンを押し、メインメニューを表示する。

2 選択ダイヤルを回し、「ユニット セッテイメニュー」を表示する。

選択ダイヤルを回すたびに、メニューが変わります。

「マイク オンリョウ」 (☞15ページ)

↑ ↓
「ユニット セッテイ」

↑ ↓
「ユニット テンケン」 (☞47ページ)

3 **決定** ボタンを押す。

パスワード画面が表示されます。

4 選択ダイヤルを回し、パスワードを入力する。

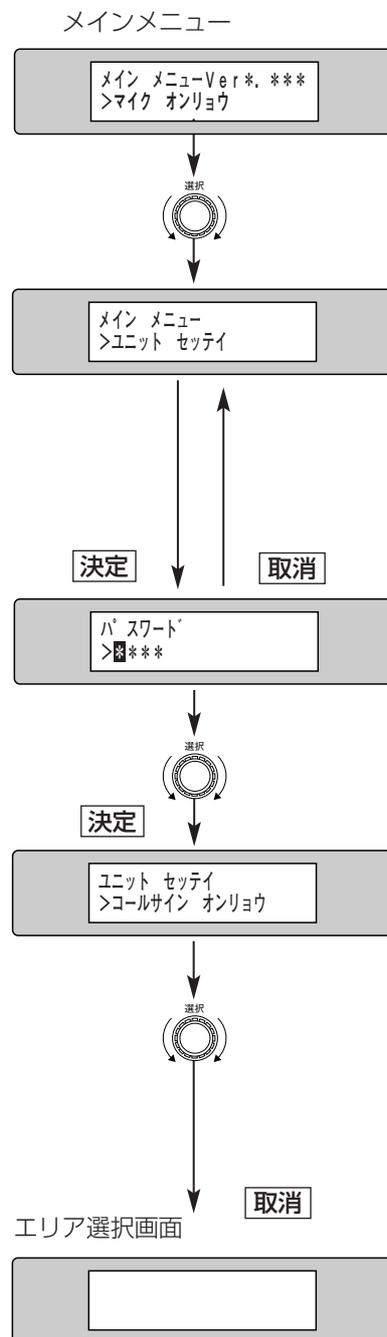
ダイヤルを回すと数字が選択されます。**決定** ボタンを押すと決定し、カーソルが移動します。4つ目の数字を入力すると、ユニット設定メニューが表示されます。上段に「ユニット セッテイ」、下段に設定項目が表示されます。

5 選択ダイヤルを回し、設定項目を選ぶ。

選択ダイヤルを回すたびに、各設定項目が表示されます (☞32ページ)。

6 ユニット設定メニューによる操作を終了するとき、エリア選択画面が表示されるまで **取消** ボタンを押す。

選択ダイヤルを回すたびに、各設定項目が表示されます (☞32ページ)。



工事

ユニット設定

通信速度の設定

接続するシステムによって、通信速度を変更します。

9 600 bpsの場合：壁掛形非常用放送設備（WK-EK110/EK115/EK120）

4 800 bpsの場合：ラック形非常用放送設備（WL-7050A/7550A）

システムコントローラー（WL-K500）

AVステーション（WL-AV200A/AV190）

（工場出荷時設定：9 600 bps）

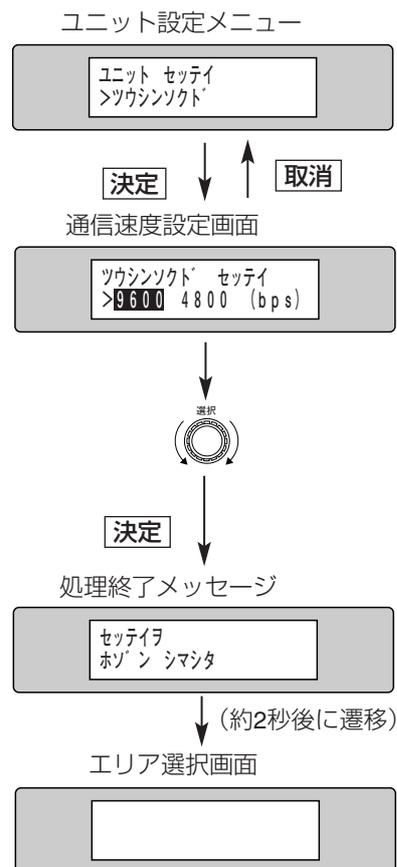
1 ユニット設定メニューを表示し、「ツウシンソクト」を表示する（☞33ページ）。

2 **決定** ボタンを押す。
通信速度設定画面が表示されます。

3 選択ダイヤルを回し、「9600」または「4800」を選択する。

4 **決定** ボタンを押す。
処理終了メッセージが表示（約2秒間）され、エリア選択画面に戻ります。

▶ **決定** ボタンを押さないと、設定した内容に変更されません。通信速度設定を設定しないときは、**取消** ボタンを押してユニット設定メニューに戻ります。



コールサイン音量の設定

コールサインの音量を調節できます。放送しながら調節できます。
音量バー 0~10点灯表示 (工場出荷時設定：音量バー 4点灯)

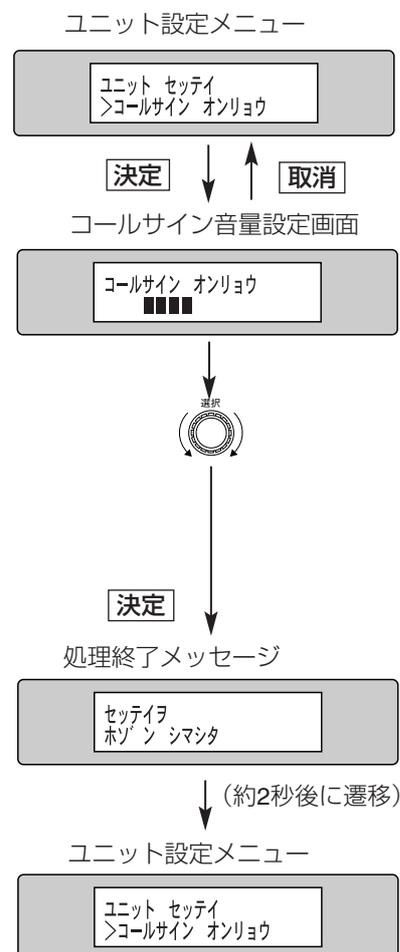
1 ユニット設定メニューを表示し、「コールサイン オンリョウ」を表示する (P.33ページ)。

2 **決定** ボタンを押す。
コールサイン音量設定画面が表示されます。

3 選択ダイヤルを回し、音量を調節する。
右へ回すと音量が大きくなり、左へ回すと音量が小さくなります。■が多いほど音量の設定が大きくなります。
最小 (■がない) 設定のときは、音は出ません。

4 **決定** ボタンを押す。
処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、ユニット設定メニューに戻ります。

▶ **決定** ボタンを押さないと、設定した内容に変更されません。音量を変更しないときは、**取消** ボタンを押してユニット設定メニューに戻ります。



※接続している壁掛形非常用放送設備でオリジナルのコールサイン音源を設定した場合は、本機の音量設定は無効となります。コールサインは、壁掛形非常用放送設備で設定した音量で放送されます。

ユニット設定

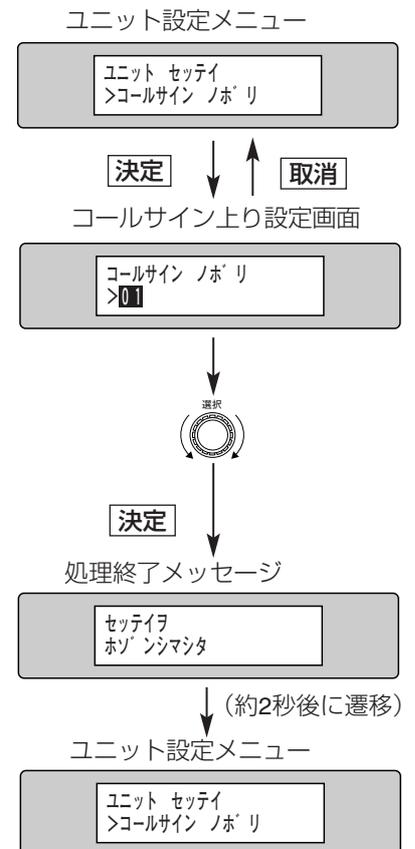
コールサイン上り音、下り音の設定

コールサイン上り音／下り音を10種類の中から設定できます。

(工場出荷時設定：コールサイン上りボタン (J) 上り4音)
コールサイン上りボタン (J) 上り4音)

番号	コールサイン音
01	上り4音
02	下り4音
03	1音
04	2音 A (ソミ)
05	2音 B (ソド)
06	3音 A (ミソド)
07	3音 B (ソシド)
08	5音 (ミドミソド)
09	7音 A (ドソミミソドド)
10	7音 B (ソラソシシシド)

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「コールサイン ノボリ」または「コールサイン クダリ」を表示する (33ページ)。
- 2 **決定** ボタンを押す。
「コールサイン上り」または「コールサイン下り」設定画面が表示されます。
- 3 選択ダイヤルを回し、コールサイン音 (「01」～「10」) を選択する。
- 4 **決定** ボタンを押す。
処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、ユニット設定メニューに戻ります。
▶ **決定** ボタンを押さないと、設定した内容に変更されません。コールサイン音を設定しないときは、**取消** ボタンを押してユニット設定メニューに戻ります。

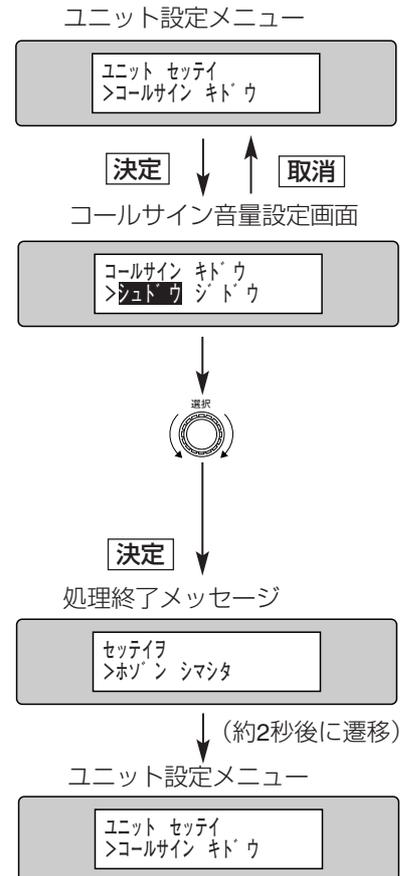


コールサイン起動の設定

コールサインの起動を手動で行うか、自動で行うか設定できます。

- 手動は、コールサインスイッチ上り／下りボタンを押すとコールサインが放送されます。
- 自動は、放送スイッチと連動して、自動的にコールサインが放送されます。
(工場出荷時設定：手動)

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「コールサイン キドウ」を表示する (P.33ページ)。
 - 2 **決定** ボタンを押す。
コールサイン起動設定画面が表示されます。
 - 3 選択ダイヤルを回し、「シユドウ」または「ジドウ」を選択する。
 - 4 **決定** ボタンを押す。
処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、ユニット設定メニューに戻ります。
- ▶ **決定** ボタンを押さないと、設定した内容に変更されません。コールサイン起動を設定しないときは、**取消** ボタンを押してユニット設定メニューに戻ります。

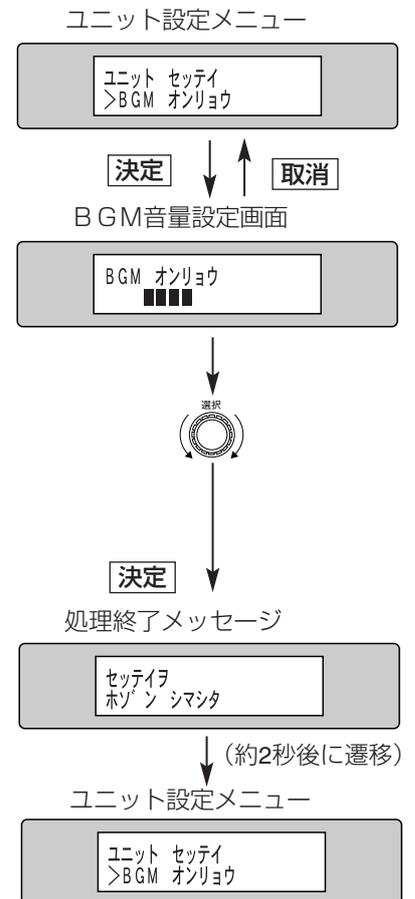


ユニット設定

BGM音量の設定

本機の外部入力端子に接続されたBGM機器のBGM音量を調節できます。放送しながら、調節できます。
音量バー 0～10点灯表示（工場出荷時設定：音量バー 4点灯）

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「BGM オンリョウ」を表示する（P.33ページ）。**
- 2 [決定] ボタンを押す。**
BGM音量設定画面が表示されます。
 - ▶ マイクボタン点灯中は「BGM OFFチュウ チョウセイデキマセン」と表示され、設定できません。[取消] ボタンを押すと、ユニット設定メニューに戻ります。
- 3 選択ダイヤルを回し、音量を調節する。**
右へ回すと音量が大きくなり、左へ回すと音量が小さくなります。■が多いほど音量の設定が大きくなります。
- 4 [決定] ボタンを押す。**
処理終了メッセージが表示（約2秒間）され、ユニット設定メニューに戻ります。
 - ▶ [決定] ボタンを押さないと、設定した内容に変更されません。音量を変更しないときは、[取消] ボタンを押してユニット設定メニューに戻ります。

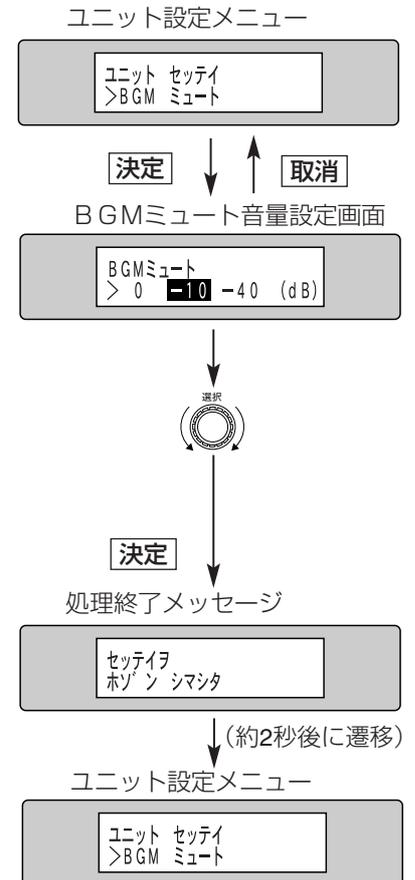


BGMミュート音量の設定

本機の外部入力端子に接続されたBGM機器のBGMミュート音量を設定できます。

0 / -10 / -40 (dB) (工場出荷時設定 : -10 dB)

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「BGMミュート」を表示する (P.33ページ)。
- 2 **決定** ボタンを押す。
BGMミュート音量設定画面が表示されます。
- 3 選択ダイヤルを回して、設定する。
選択したい数値にカーソルを移動させます。
- 4 **決定** ボタンを押す。
処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、ユニット設定メニューに戻ります。
 - ▶ **決定** ボタンを押さないと、設定した内容に変更されません。音量を変更しないときは、**取消** ボタンを押してユニット設定メニューに戻ります。



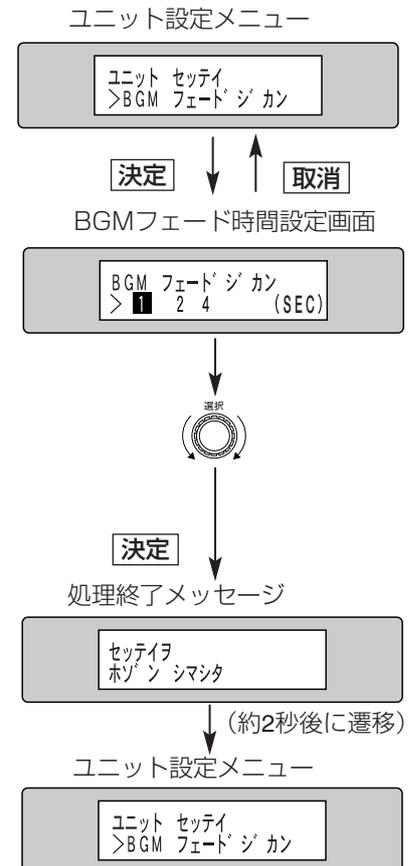
ユニット設定

BGMフェード時間の設定

本機の外部入力端子に接続されたBGM機器のBGMフェード時間を設定できます。マイクの「ON/OFF」により、自動的にBGMをフェードアウト/フェードインさせます。

設定時間：1/2/4（秒）（工場出荷時設定：1秒）

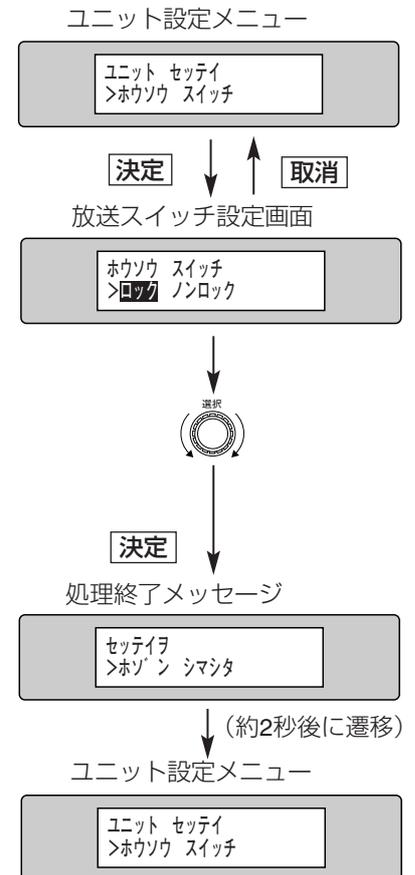
- 1 ユニット設定メニューを表示し、「BGMフェード ジカン」を表示する（33ページ）。
- 2 **決定** ボタンを押す。
BGMフェード時間設定画面が表示されます。
- 3 選択ダイヤルを回して、設定する。
選択したい数値にカーソルを移動させます。
- 4 **決定** ボタンを押す。
処理終了メッセージが表示（約2秒間）され、ユニット設定メニューに戻ります。
 - ▶ **決定** ボタンを押さないと、設定した内容に変更されません。設定を変更しないときは、**取消** ボタンを押してユニット設定メニューに戻ります。



放送スイッチの設定

放送スイッチの制御方式を、ロック式で行うかノンロック式で行うかを設定できます。ロック式は、ボタンを押すたびにON/OFFが切り替わります。ノンロック式は、ボタンを押している間だけONになります。(工場出荷時設定：ロック)

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「ハウソウスイッチ」を表示する (P.33ページ)。
- 2 **決定** ボタンを押す。
放送スイッチ設定画面が表示されます。
- 3 選択ダイヤルを回し、「ロック」または「ノンロック」を選択する。
- 4 **決定** ボタンを押す。
処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、ユニット設定メニューに戻ります。
▶ **決定** ボタンを押さないと、設定した内容に変更されません。放送スイッチを設定しないときは、**取消** ボタンを押してユニット設定メニューに戻ります。



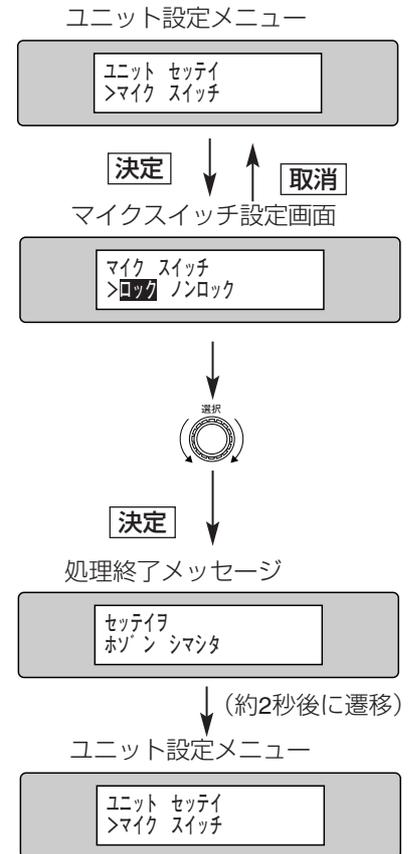
ユニット設定

マイクスイッチの設定

マイクスイッチの制御方式をロック式、ノンロック式のどちらかに設定できます。ロック式は、ボタンを押すたびにON/OFFが切り替わります。ノンロック式は、ボタンを押している間だけONになります。(工場出荷時設定：ロック)

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「マイクスイッチ」を表示する (P.33ページ)。
- 2 **決定** ボタンを押す。
マイクスイッチ設定画面が表示されます。
- 3 選択ダイヤルを回し、「ロック」または「ノンロック」を選択する。
- 4 **決定** ボタンを押す。
処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、ユニット設定メニューに戻ります。

▶ **決定** ボタンを押さないと、設定した内容に変更されません。マイクスイッチを設定しないときは、**取消** ボタンを押してユニット設定メニューに戻ります。



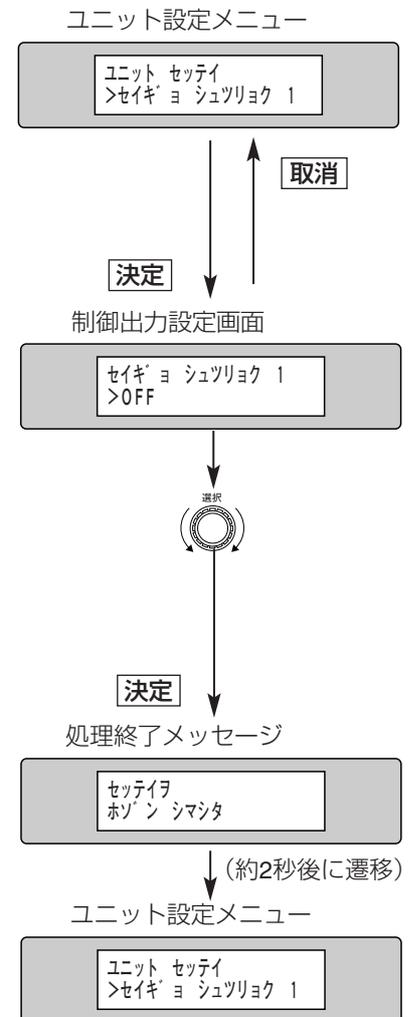
外部制御出力1、2、3の設定

外部制御出力1、2、3の起動元をマイクスイッチ、放送スイッチ、コールサイン上り／下りボタンの中から選択します。各スイッチを押すと、外部制御出力が動作しメイク状態になります。

(工場出荷時設定：OFF (なし))

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「セイギョ シュツリョク 1」または「セイギョ シュツリョク 2」、「セイギョ シュツリョク 3」を表示する (☞33ページ)。
- 2 **決定** ボタンを押す。
制御出力1 (または2、3) 設定画面が表示されます。
- 3 選択ダイヤルを回し、「OFF」「コールサイン UP」「コールサイン DOWN」「ハウソウスイッチ」「マイク スイッチ」の中から選択する。
- 4 **決定** ボタンを押す。
処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、ユニット設定メニューに戻ります。

▶ **決定** ボタンを押さないと、設定した内容に変更されません。制御出力を設定しないときは、**取消** ボタンを押してユニット設定メニューに戻ります。

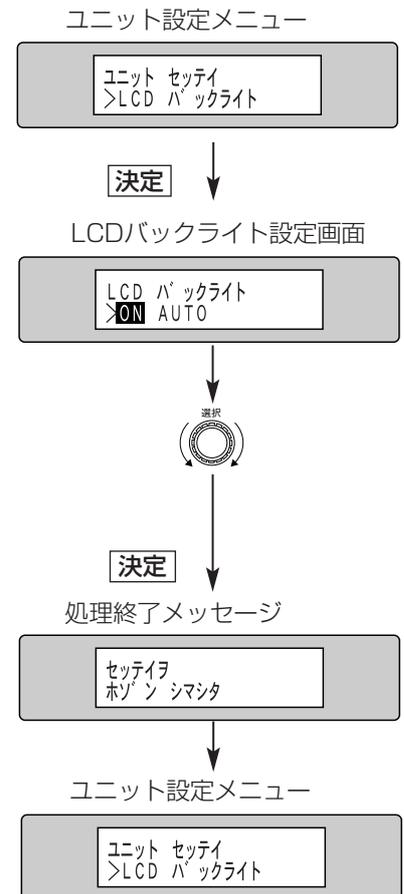


ユニット設定

液晶 (LCD) バックライトの設定

液晶のバックライトを使用する環境に合わせて切り換えることができます。
AUTOにすると、本機のボタンを約1分操作しないと、自動的にバックライトが消灯します。
ON/AUTO (工場出荷時設定: AUTO)

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「LCD バックライト」を表示する (☞33ページ)。
- 2 **決定** ボタンを押す。
LCDバックライト設定画面が表示されます。
- 3 選択ダイヤルを回して、設定する。
選択したい項目にカーソルを移動させます。
- 4 **決定** ボタンを押す。
処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、ユニット設定メニューに戻ります。
 - ▶ **決定** ボタンを押さないと、設定した内容に変更されません。設定を変更しないときは、**取消** ボタンを押してユニット設定メニューに戻ります。



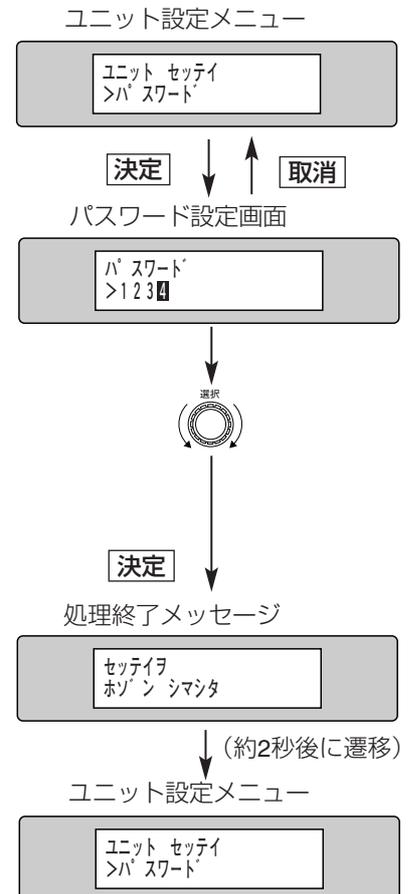
パスワードの設定

パスワードを変更する場合、新しいパスワードを設定します。初期状態は、登録済みのパスワードが表示されます。登録できるのは、4けたまでです。

(工場出荷時設定：0000)

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「パスワード」を表示する (☞33ページ)。
- 2 **決定** ボタンを押す。
パスワード設定画面が表示されます。
- 3 選択ダイヤルを回し、選択のたびに **決定** ボタンを押して新しいパスワード4けたを入力する。
- 4 **決定** ボタン押す。
処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、ユニット設定メニューに戻ります。

▶ **決定** ボタンを押さないと、設定した内容に変更されません。パスワードを設定しないときは、**取消** ボタンを押してユニット設定メニューに戻ります。



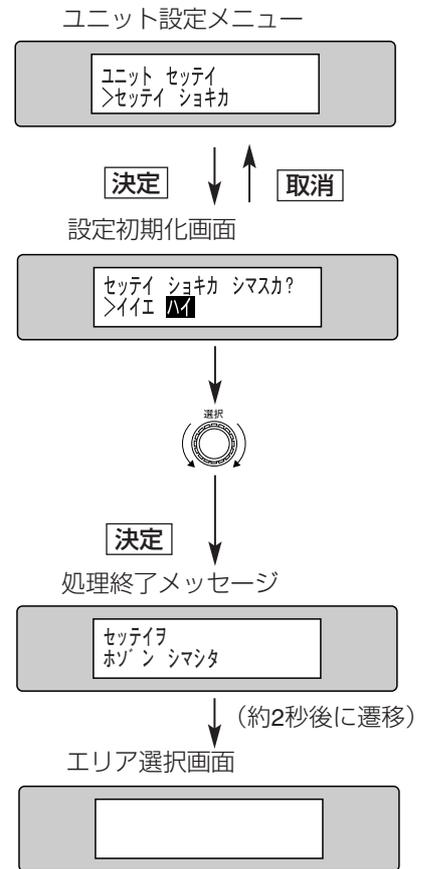
ユニット設定

設定の初期化

本機の全設定を工場出荷状態に戻します。

イエエ/ハイ（工場出荷時設定：イエエ）

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「セッテイ ショキカ」を表示する（☞33ページ）。
- 2 **決定** ボタンを押す。
設定初期化画面が表示されます。
- 3 選択ダイヤルを回して、設定する。
「ハイ」にカーソルを移動させます。
- 4 **決定** ボタンを押す。
処理終了メッセージが表示（約2秒間）され、エリア
選択画面に戻ります。
▶ 「ハイ」を選択しても**決定** ボタンを押さないと、設定
初期化されません。



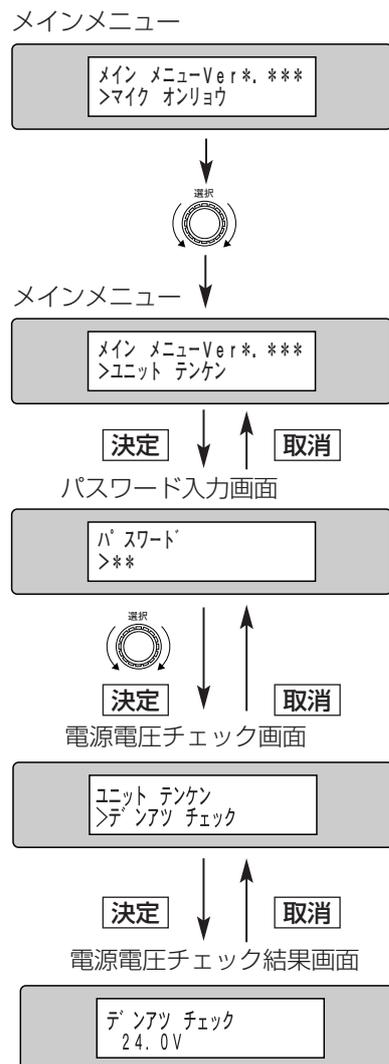
ユニット点検

ユニット点検で次の項目を点検できます。

項目	概要
電源電圧チェック	本機に供給されている電源の電圧を確認できます。
バージョン番号表示	本機ソフトウェアのバージョンを表示します。

電源電圧のチェック

- 1 **メニュー** ボタンを押し、メインメニューを表示する。
- 2 選択ダイヤルを回し、「ユニット テンケン」を表示する。
- 3 **決定** ボタンを押し。
パスワード画面が表示されます。
- 4 選択ダイヤルを回し、選択のたびに**決定** ボタンを押し、4けたのパスワードを入力する。
- 5 **決定** ボタンを押し。
電源電圧チェック画面が表示されます。
- 6 **決定** ボタンを押し。
電源電圧のチェック結果が表示されます。±1 V程度の誤差がありますので、目安としてお使いください。
- 7 **決定** ボタンまたは**取消** ボタンを押し。
電源電圧チェック画面に戻ります。



バージョン番号の表示

メインメニュー画面を表示すると、ソフトのバージョン番号「Ver*.***」が表示されます。

メインメニュー



故障かな!?

ご使用中に故障かなと思われる症状が生じたときは下表および16~17ページの表を確認し、それでも直らないときは電源を切ってから、修理の手続きをお取りください。

症状	確認項目	処置	ページ
電源が入らない	電源接続端子が接続されていますか?	電源接続端子を接続します。	25
	ACアダプターが接続されていますか? (主装置から電源供給していないシステムの場合)	ACアダプターをDC入力24 Vジャックに接続します。	25 26 28
マイク放送ができない	マイクボタンが点灯していますか?	マイクボタンを押します。	12
	放送ボタンが点灯していますか?	放送ボタンを押します。	12
	放送エリアボタンが緑色に点灯していますか?	放送したい放送エリアのボタンを押します。橙色のときは、本機より優先順位の高い放送が行われていますので、放送が終了してから本機からの放送ができます。	11
液晶画面に「エラーハッセイ〈ツウシンエラー〉」、または「モウイチド ソウサシテクダサイ」と表示される。	各端子は正しく接続されていますか?	接続を確認します。	25~ 30
	本機のユニットアドレスおよび通信速度が正しく設定されていますか?	ユニットアドレスおよび主装置側に合わせて通信速度を設定します。	34
	主装置側でマルチリモコンマイクの台数が設定されていますか?		
	壁掛形非常用放送設備の場合	主装置側でマルチリモコンマイクの台数を書き込み設定します。	—
ラック形非常用放送設備の場合	入出力制御ユニット (WU-R55) のディップスイッチで台数を設定します。	26 27	
システムコントローラーの場合	入出力制御ユニット (WU-R55) のディップスイッチで台数を設定します。	26 27	
AVステーションの場合	主装置側のディップスイッチで台数を設定して、初期化を行います。	28 29	

仕様

●基本仕様

電源	DC24 V、250 mA 接続するシステムの本体、または別売のACアダプターより供給
使用温度範囲	0 °C ~ +50 °C
寸法	幅 280 mm 高さ 55 mm 奥行き 150 mm (マイク他の突起部含まず)
質量	約 1 kg
仕上げ	本体部：OAアイボリー樹脂色 (樹脂成形) マンセル5.5Y7.5/0.3近似色 台座部：グレー樹脂色 マンセルN3.5近似色 操作部：ポリカーボネイトシート

●音声入力

マイクロホン	ECM内蔵 350 mm フレキシブルマイクロホン 定格出力：-2 dBV/94 dB SPL
外部入力	ピンジャック2系統 (内部でモノラルミックス)、不平衡 入力感度：-2 dBV、入力インピーダンス：20 kΩ、 周波数範囲：50 Hz~20 000 Hz

●音声出力

音声出力	ねじ端子3極、1系統、電子バランス 出力レベル：-2 dBV、適合負荷インピーダンス：600 Ω以上、 周波数範囲：50 Hz~20 000 Hz
録音出力	ピンジャック1系統 (モノラル)、不平衡 出力レベル：-2 dBV、適合負荷インピーダンス：10 kΩ以上、 周波数範囲：50 Hz~20 000 Hz

●外部制御出力

方式	3回路、フォトカプラによるオープンコレクタ出力
制御電圧	35 V
制御電流	15 mA

●通信

通信方式	RS-485 1系統、半2重方式
最大接続数	WL-7050A/7550A、WL-K500、WL-AV200A/AV190の場合：8台 WK-EK110/EK115/EK120の場合：4台 (デিজィーチェーン接続)
同期方式	調歩同期方式
データ転送速度	9 600 bpsまたは4 800 bps (切換設定)

●その他

コールサイン	10種 (出荷時：上り4音、下り4音)
モニター用スピーカー	内蔵
出力レベル表示	9点レベルメーター
表示素子	液晶表示 16文字×2行
角度調節	本体部：-5° ~ 15°、5° ステップ、マイク部：0° または90°
設置	壁取付時は台座を壁に取付可能。対応するスイッチボックス：JIS 2個用

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このマルチリモコンマイクの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

16～17、48ページの表に従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、本機の電源スイッチを「切」にしてから、ACアダプターを接続している場合はACアダプターを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	マルチリモコンマイク
品番	WR-MC100
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日	品番	WR-MC100
おぼえのため 記入されると 便利です	販売店名	電話 () —				

松下電器産業株式会社

ブロードメディア本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410